

千葉県歯・口腔保健計画（案）に関するの
県民アンケート調査結果報告書

平成23年3月

千葉県健康福祉部

目次

第1章	調査の概要	
1	調査の趣旨	2
2	調査の対象	2
3	調査の期日	2
4	主な調査事項	2
5	調査の方法	2
6	調査票	2
7	調査の回答状況	2
8	結果の集計	2
第2章	調査の結果	
第1節	一般県民対象	
1	性別及び年齢	3
2	歯や歯ぐきの健康について注意していること	4
3	歯や口の健康について望むこと	9
第2節	児童生徒対象	
1	性別及び学年	15
2	歯や歯ぐきの健康について注意していること	15
3	歯や口の健康について県などの公的機関に望むこと	20
第3章	資料編	
	一般県民対象アンケート調査票	25
	児童生徒対象アンケート調査票	26
	一般県民対象アンケート調査集計表	27
	児童生徒対象アンケート調査集計表	37

第1章 調査の概要

1 調査の趣旨

県では、「千葉県歯・口腔の健康づくり推進条例」に基づき、県では生涯にわたる県民の歯・口腔の健康づくりの着実な実現に向けて、総合的かつ計画的に取り組む「千葉県歯・口腔保健計画」を策定する。

計画の策定にあたり、県では、県や市町村が実施している歯科保健事業の参加者や児童生徒に対して、歯・口腔の健康に関する御意見等を伺い、計画に反映させていく。

2 調査の対象

(1) 一般県民対象

県や市町村が実施している歯科保健事業（母親学級、乳幼児歯科健診、介護予防教室、県民公開講座等）の参加者

(2) 児童生徒対象

千葉市内の2小学校及び2中学校

3 調査の期日

パブリックコメント期間中（平成23年1月26日から2月21日）

4 主な調査事項

- (1) 歯や歯ぐきの健康に注意していること
- (2) 歯や口の健康について望んでいること
- (3) その他

5 調査の方法

県、市町村担当者あるいは学校担当者が、歯科保健事業あるいは授業の中で、調査の対象者に千葉県歯・口腔保健計画（案）について説明をした後、調査の対象者がアンケート調査を記入した。

6 調査票

一般県民対象用と児童生徒対象用の2種類のアンケート調査票を用いた。

7 調査の回答状況

(1) 一般県民対象

県と31の市町村において、1,883名が回答した。

(2) 児童生徒対象

781名の児童生徒（小学校第5学年から中学校第3学年）が回答した。

8 結果の集計

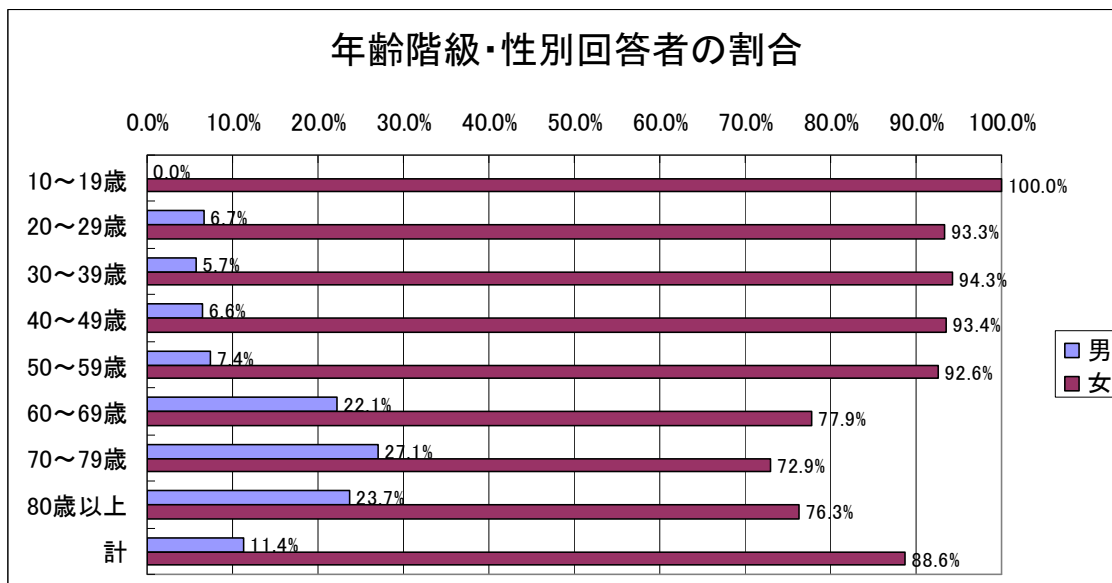
調査結果の集計並びに解析は、千葉県健康福祉部健康づくり支援課が行った。

第2章 調査の結果

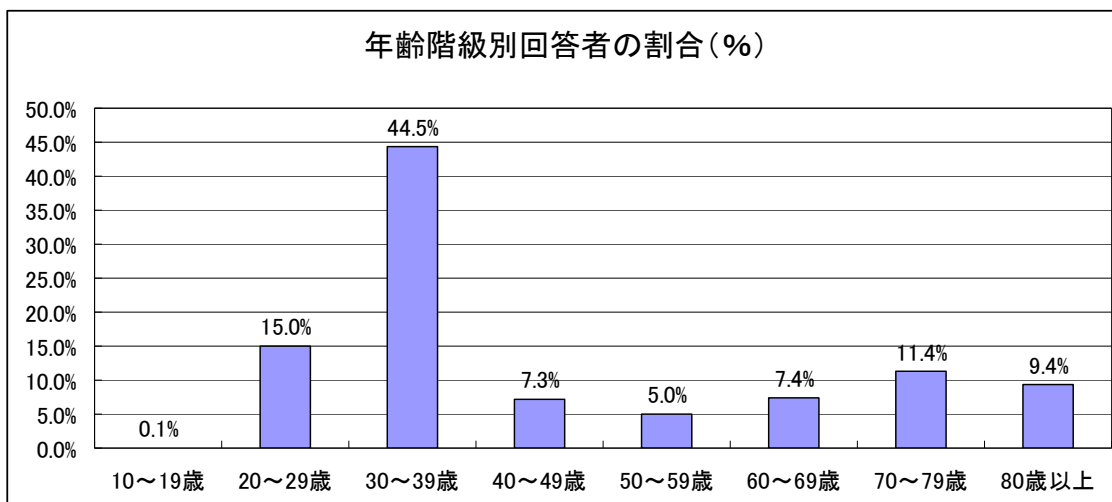
第1節 一般県民対象

1 性別及び年齢

全体では、女性が88.6%だった。年齢階級別にみると60歳以上では、男性が20%以上だった。

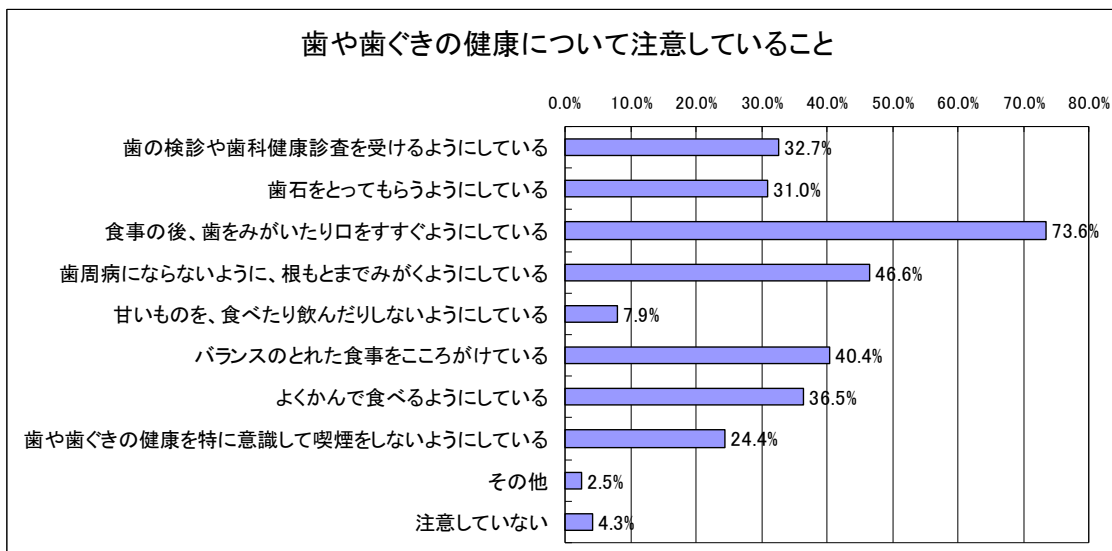


回答者の割合を年齢階級別にみると、30~39歳が最も多く44.5%、次いで20~29歳が15.0%、70~79歳が11.4%だった。

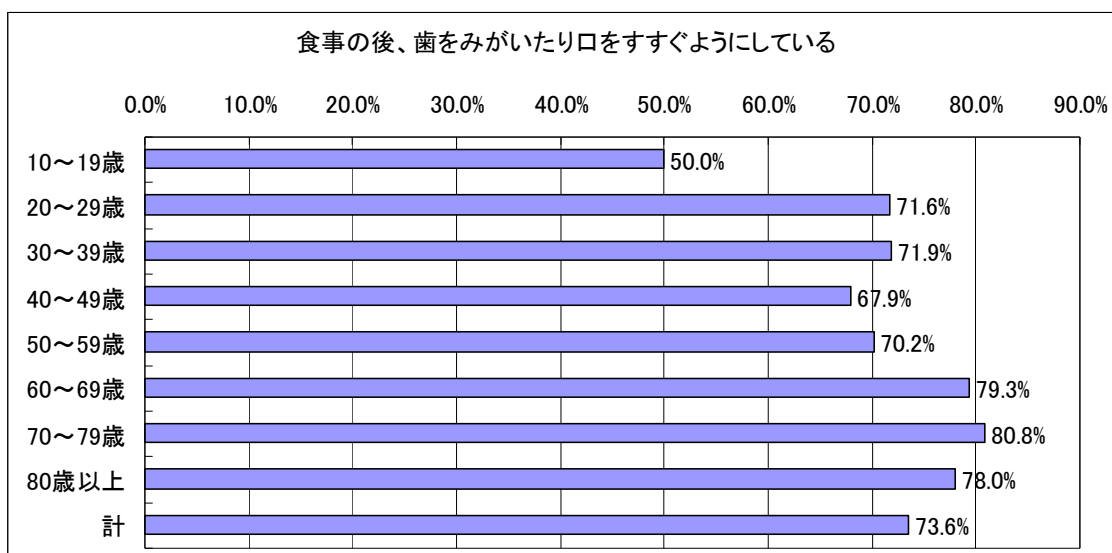


2 歯や歯ぐきの健康について注意していること

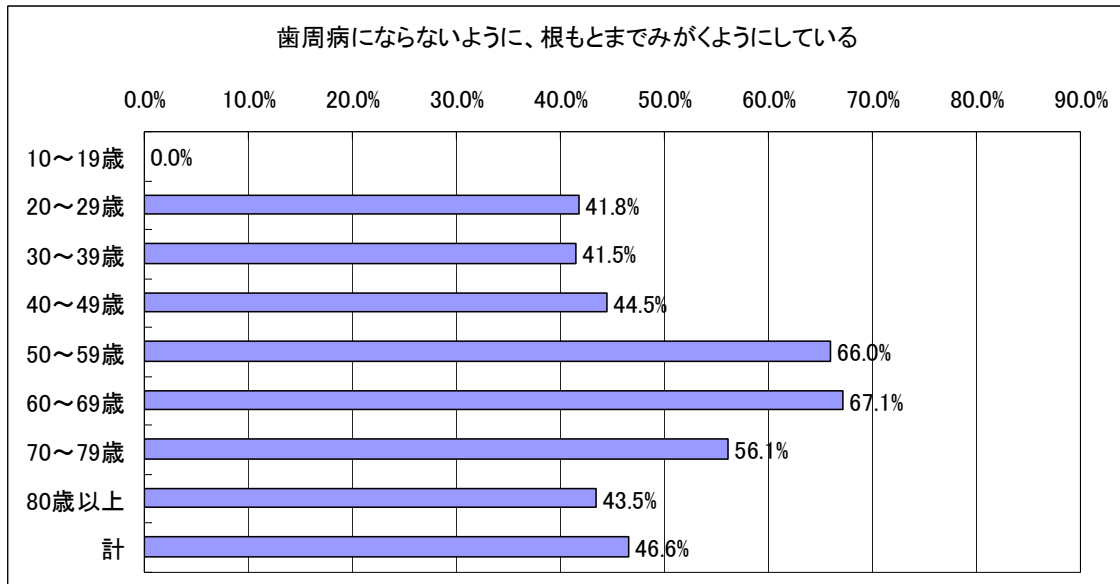
全体では、食事の後、歯をみがいたり口をすすぐようにしているが最も多く 73.6%、歯周病にならないように、根もとまでみがくようにしている 46.6%、バランスのとれた食事をこころがけている 40.4%だった、



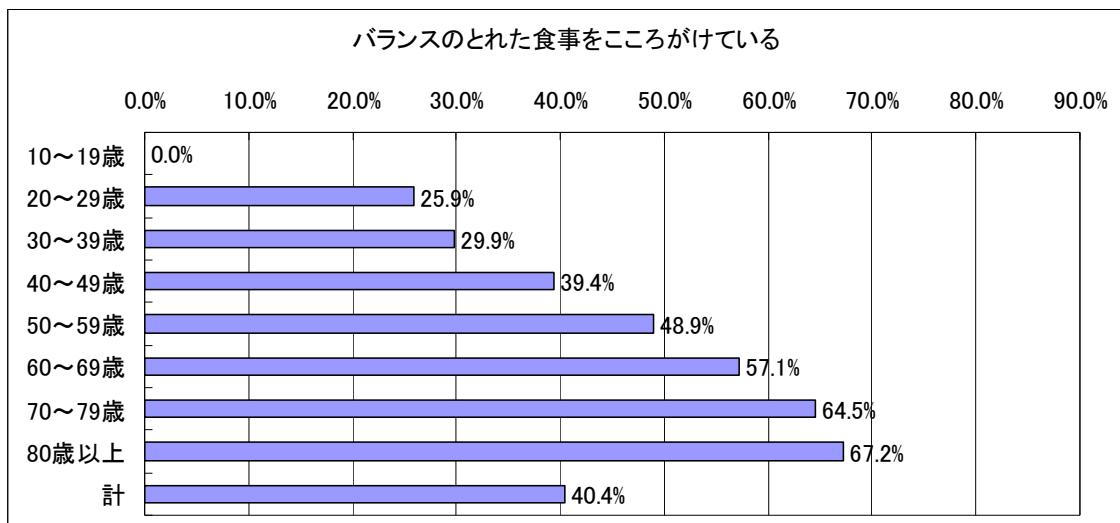
食事の後、歯をみがいたり口をすすぐようにしているのは、70～79 歳が 80.8%と最も多く、次いで 60～69 歳が 79.3%だった。



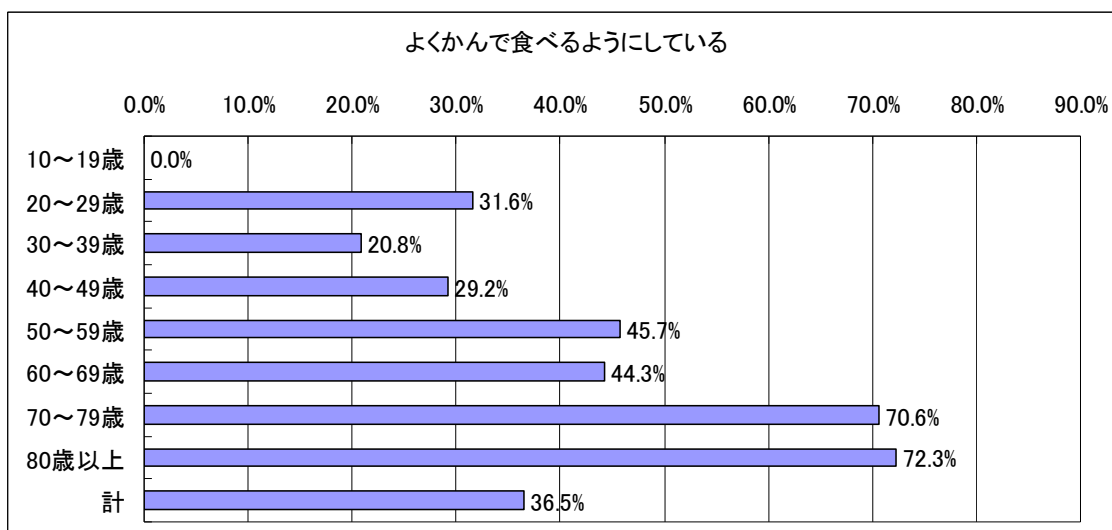
歯周病にならないように、根もとまでみがくようにしているは、60～69歳が67.1%と最も多く、次いで50～59歳が66.0%だった、



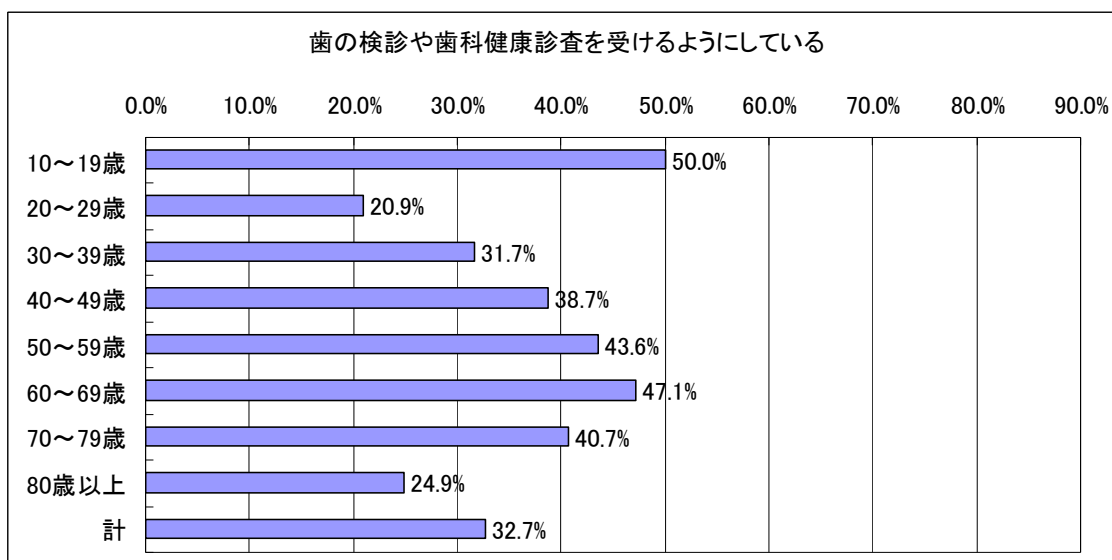
バランスのとれた食事をこころがけているは、80歳以上が67.2%と最も多く、次いで70～79歳が64.5%だった。



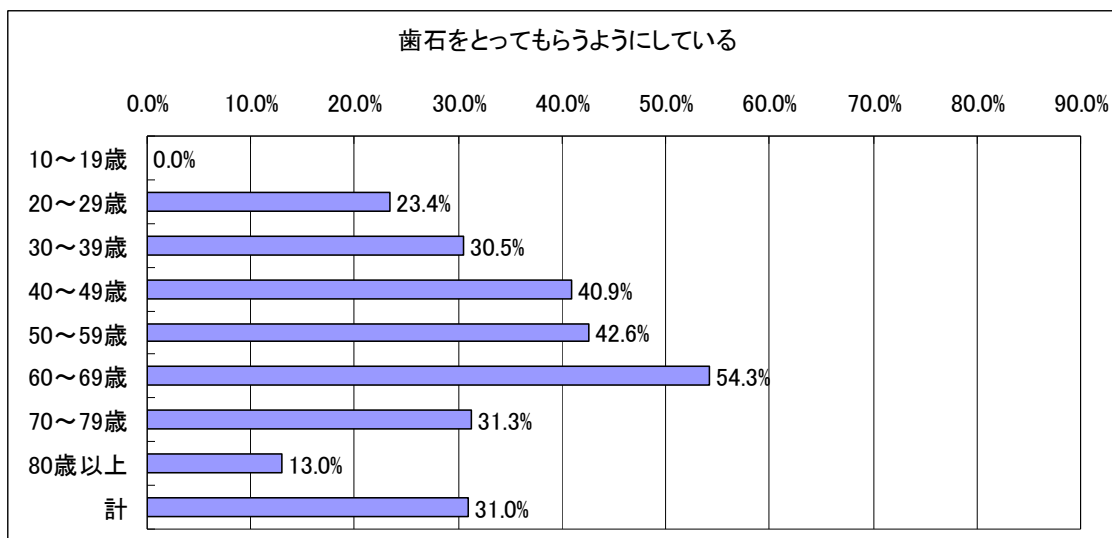
よくかんで食べるようにしているのは、80歳以上が72.3%と最も多く、次いで70～79歳が70.6%だった。



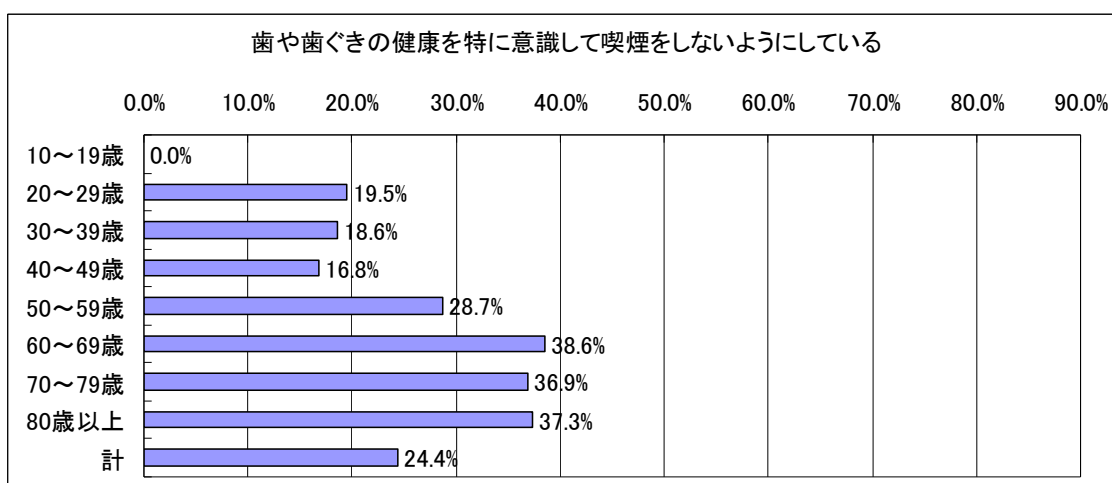
歯の検診や歯科健康診査を受けるようにしているのは、10～19歳が最も多く50.0%、次いで60～69歳が47.1%、50～59歳が43.6%だった。



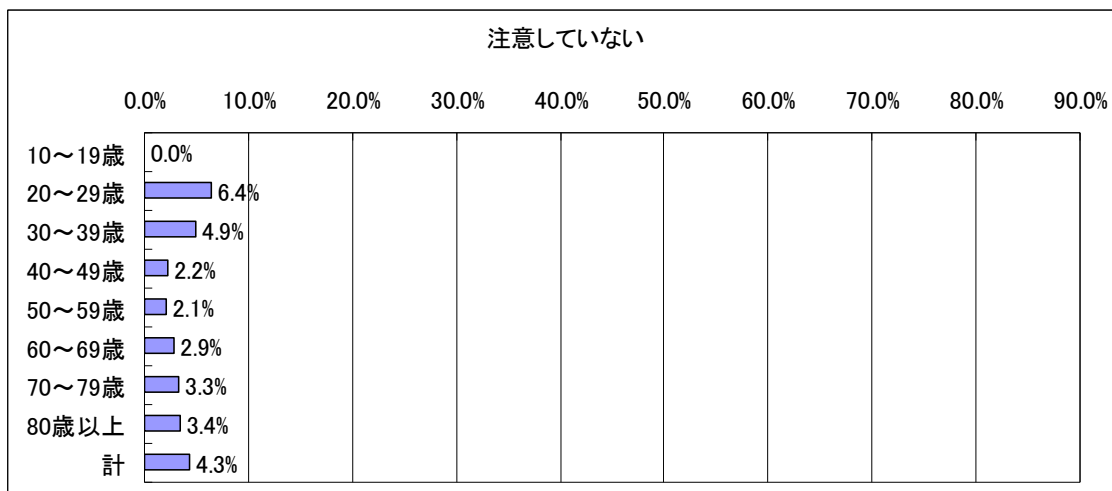
歯石をとってもらようようにしているのは、60～69歳が54.3%と最も多く、次いで50～59歳が42.6%、40～49歳が40.9%だった。



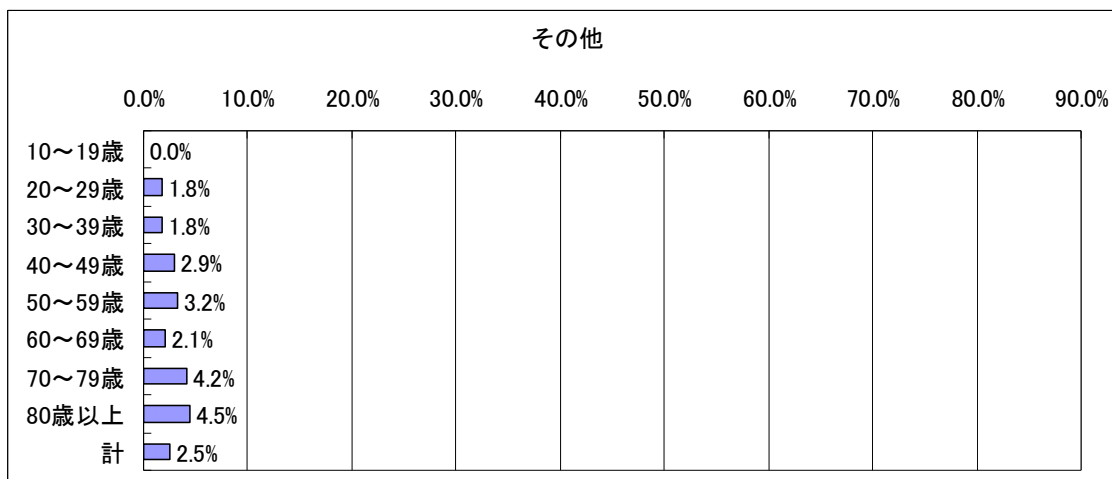
歯や歯ぐきの健康を特に意識して喫煙をしないようにしているのは、60～69歳が38.6%と最も多く、次いで80歳以上が37.3%、70～79歳が36.9%だった。



注意していないは、20～29歳が6.4%と最も多く、次いで30～39歳が4.9%だった。

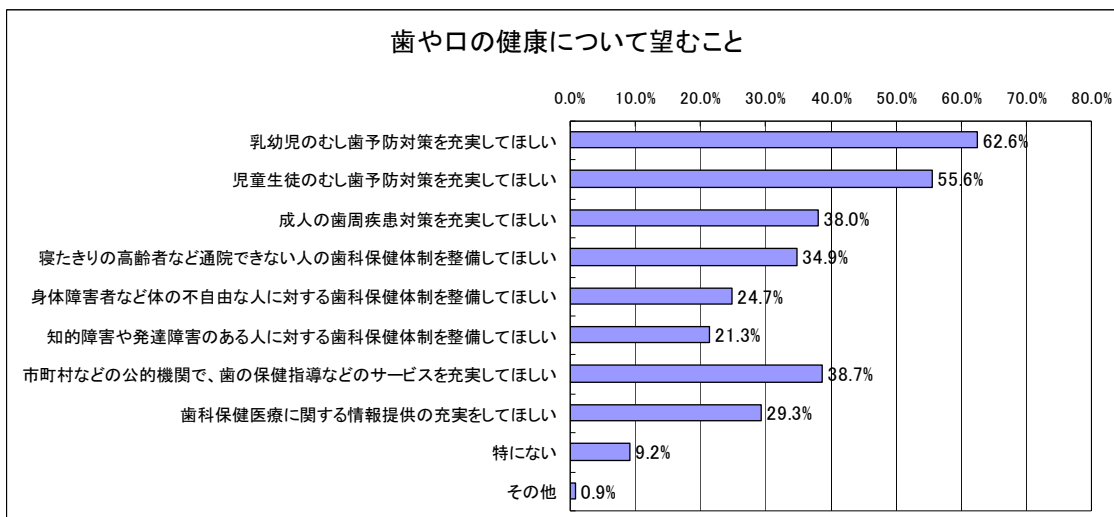


その他は、80歳以上が4.5%と最も多く、次いで70～79歳が4.2%だった。

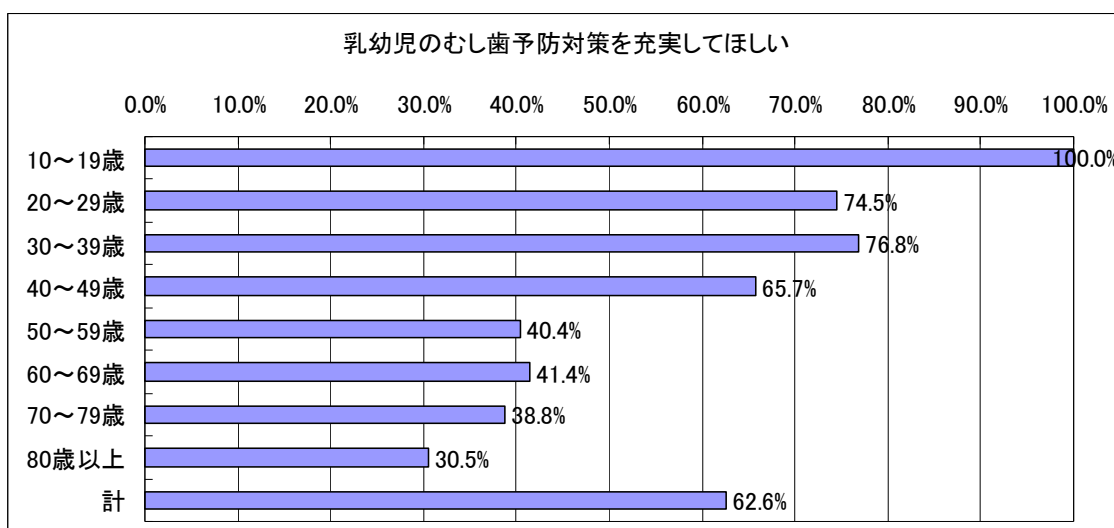


3 歯や口の健康について望むこと

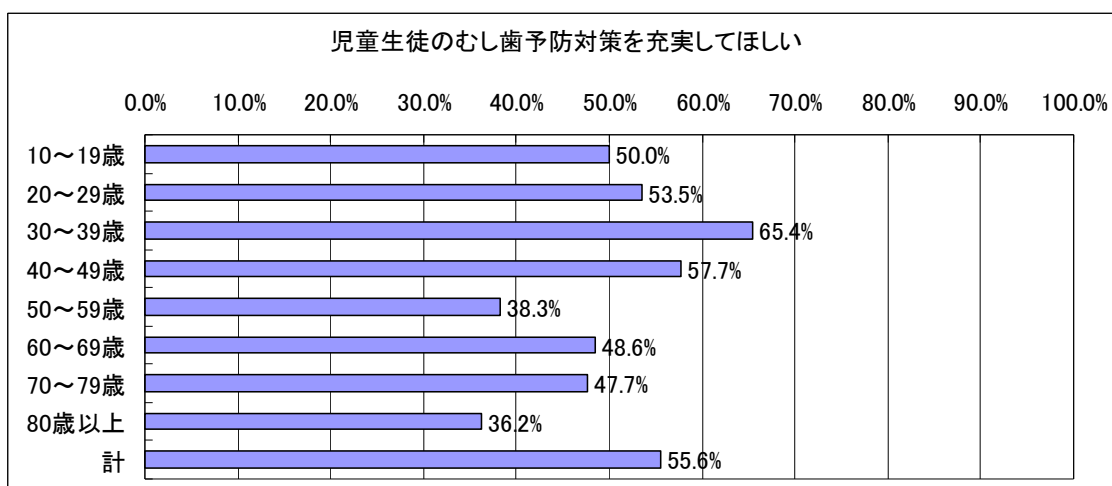
全体では、乳幼児のむし歯予防対策を充実してほしいが最も多く 62.6%、次いで児童生徒のむし歯予防対策を充実してほしいが 55.6%、市町村などの公的機関で、歯の保険指導などのサービスを充実してほしいが 38.7%だった。



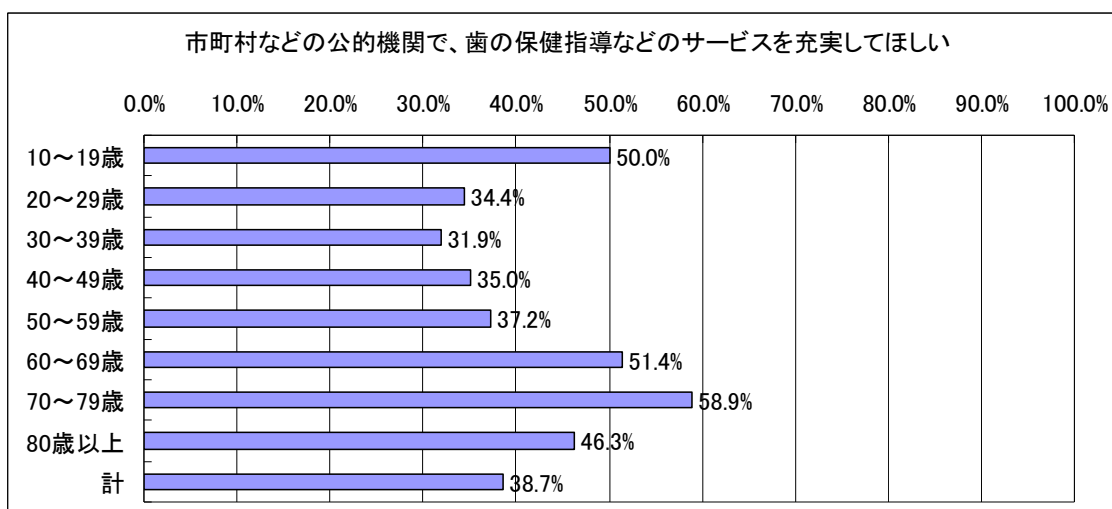
乳幼児のむし歯予防対策を充実してほしいは、10～19歳が 100.0%と最も多く、次いで 30～39歳が 76.8%、20～29歳が 74.5%だった。



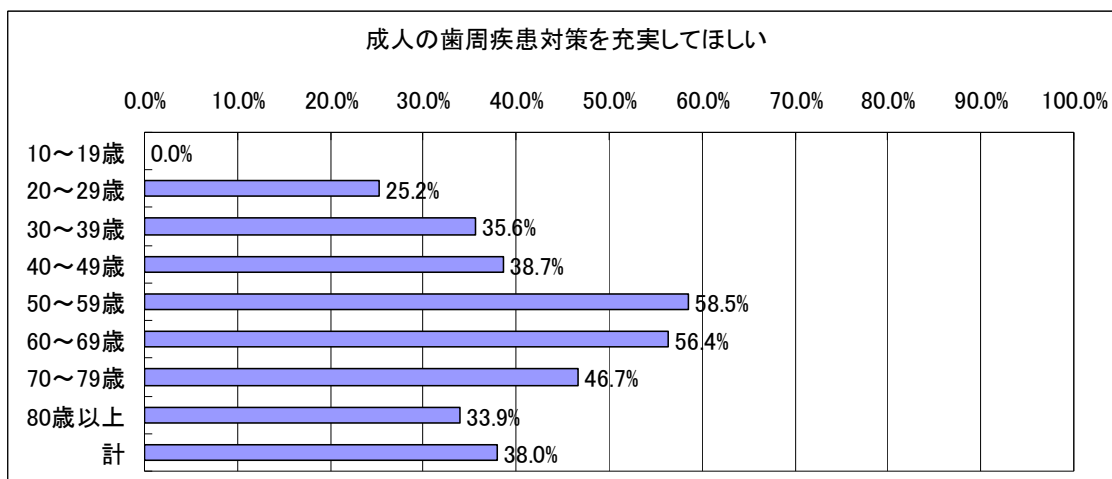
児童生徒のむし歯予防対策を充実してほしいは、30～39歳が65.4%と最も多く、次いで40～49歳が57.7%、20～29歳53.5%だった。



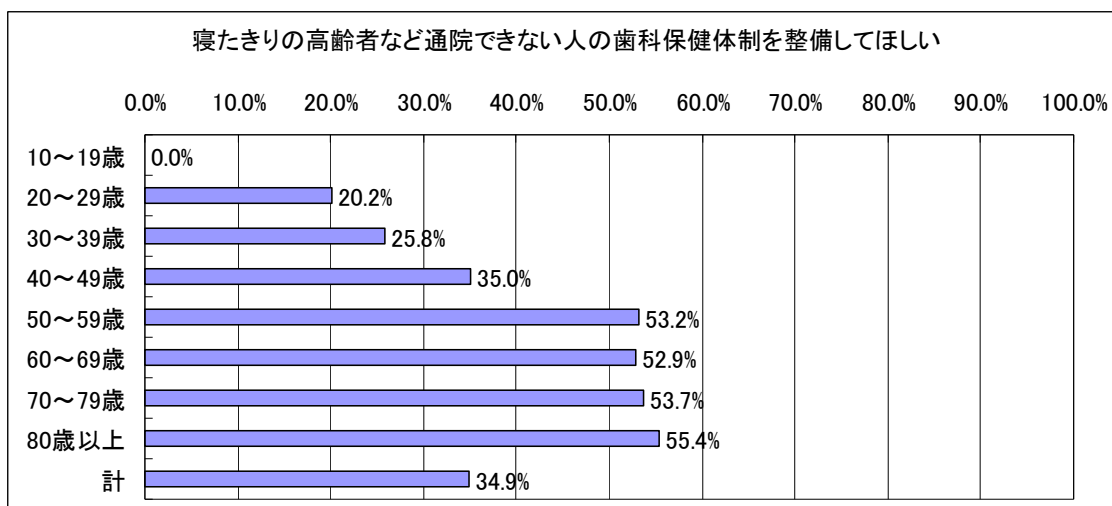
市町村などの公的機関で、歯の保健指導などのサービスを充実してほしいは、70～79歳が58.9%と最も多く、次いで60～69歳が51.4%だった。



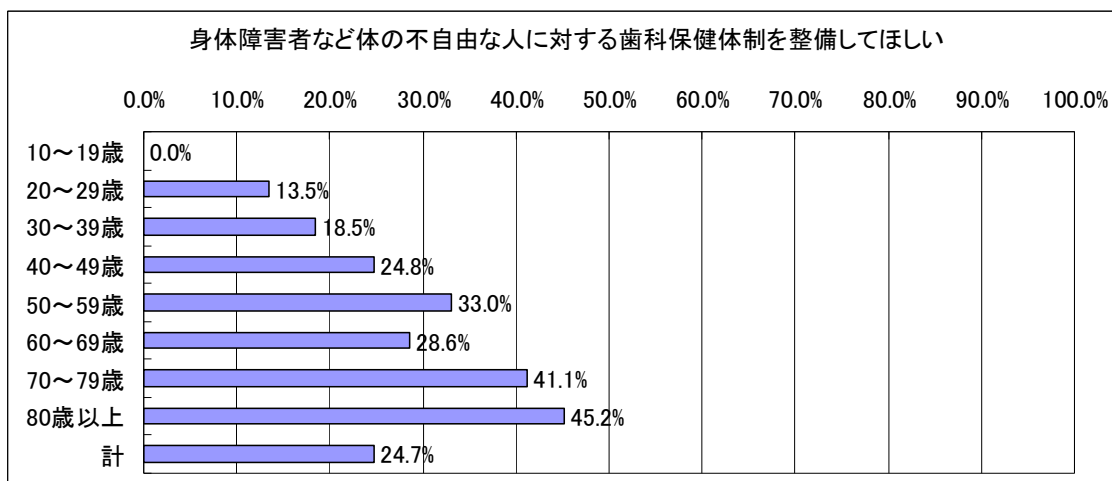
成人の歯周疾患対策を充実してほしいは、50～59歳が58.5%と最も多く、次いで60～69歳が56.4%、70～79歳が46.7%だった。



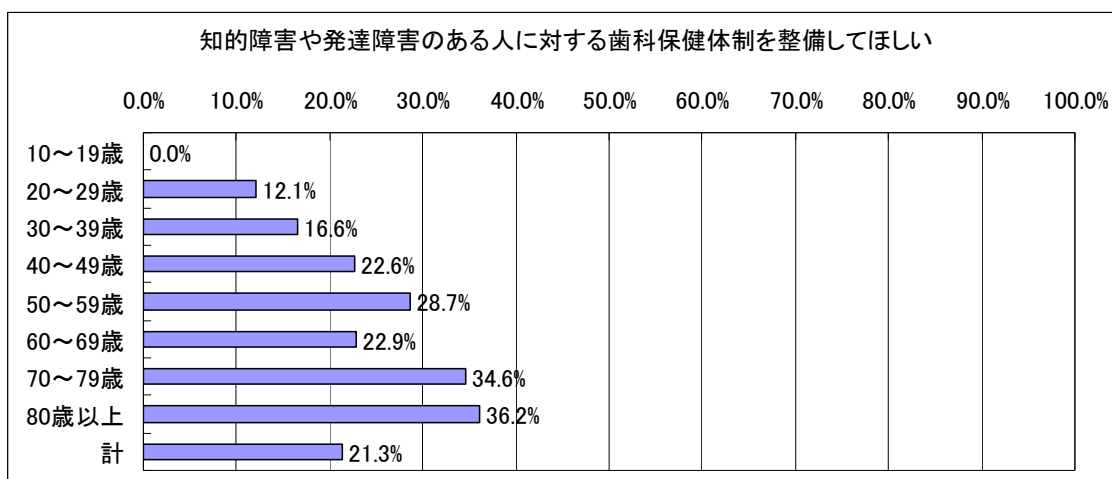
寝たきりの高齢者など通院できない人の歯科保健体制を整備してほしいは、80歳以上が55.4%と最も多く、次いで70～79歳が53.7%、60～69歳が52.9%、50～59歳が53.2%だった。



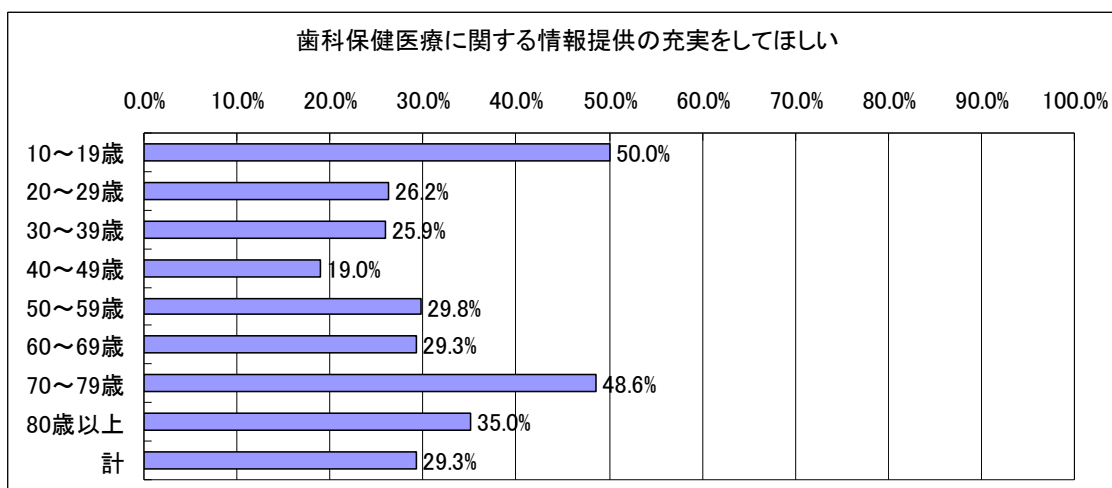
身体障害者など体の不自由な人に対する歯科保健体制を整備してほしいは、80歳以上が45.2%と最も多く、次いで70～79歳が41.1%、50～59歳が33.0%だった。



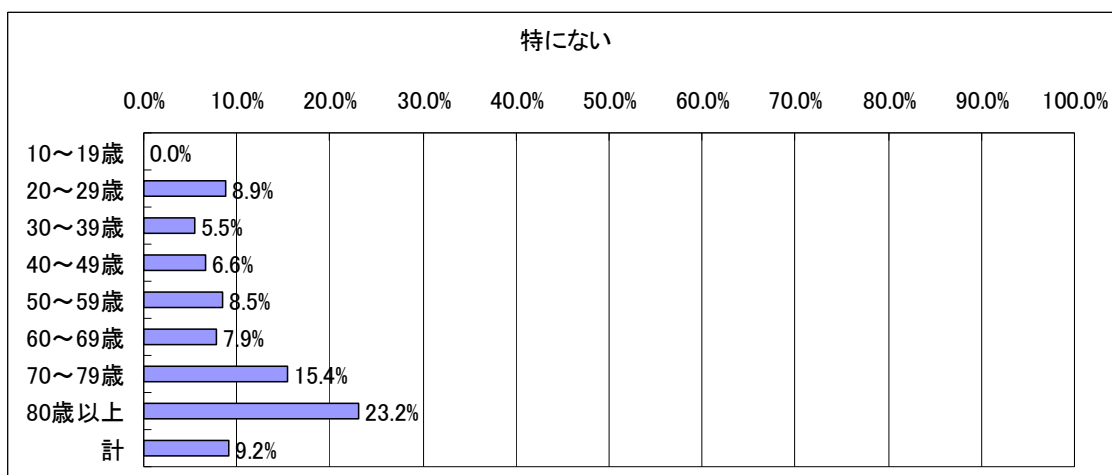
知的障害や発達障害のある人に対する歯科保健体制を整備してほしいは、80歳以上が36.2%と最も多く、次いで70～79歳が34.6%、50～59歳が28.7%だった。



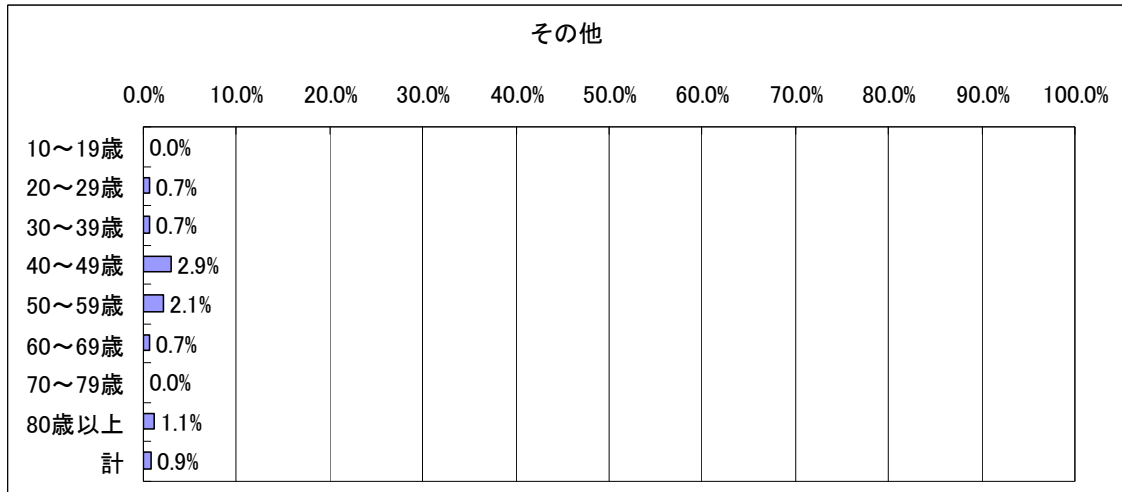
歯科保健医療に関する情報提供の充実をしてほしいは、10～19歳が50.0%と最も多く、次いで70～79歳48.6%、80歳以上が35.0%だった。



特にないは80歳以上が23.2%と最も多く、次いで70～79歳が15.4%だった。



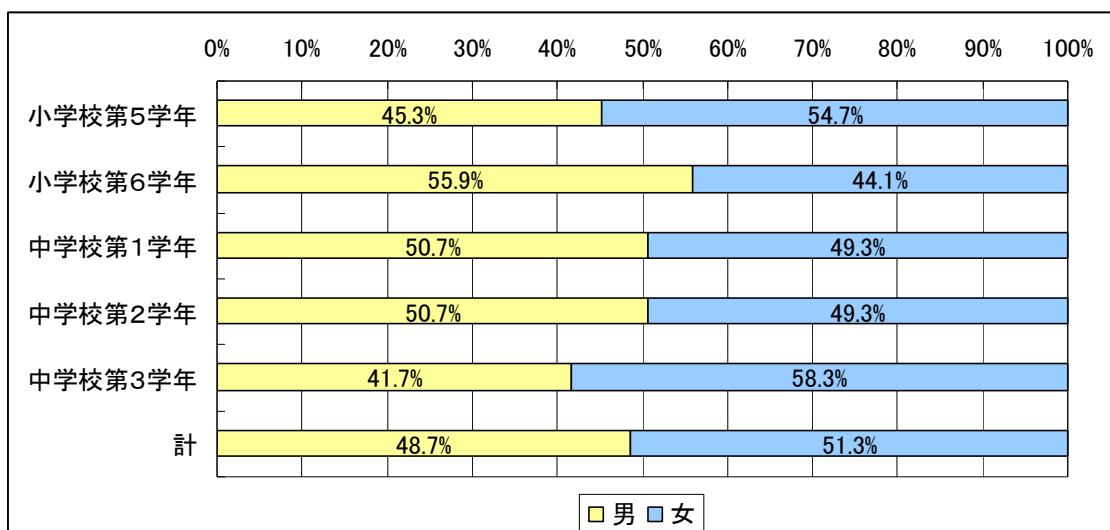
その他は、40～49歳が2.9%と最も多く、次いで50～59歳が2.1%だった。



第2節 児童生徒対象

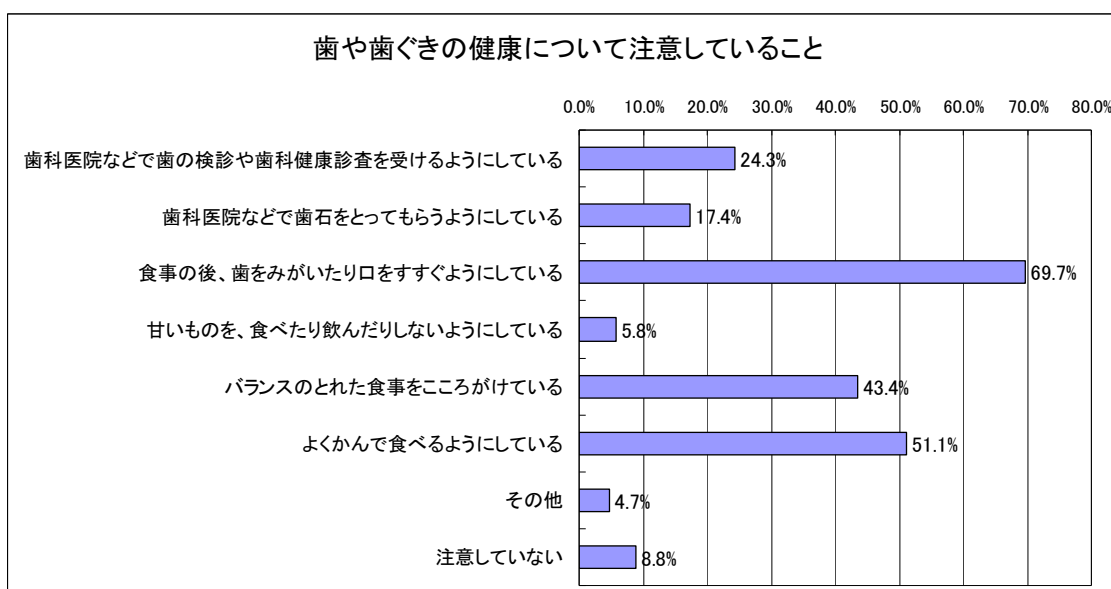
1 性別及び学年

全体では、男性が48.7%、女性が51.3%だった。

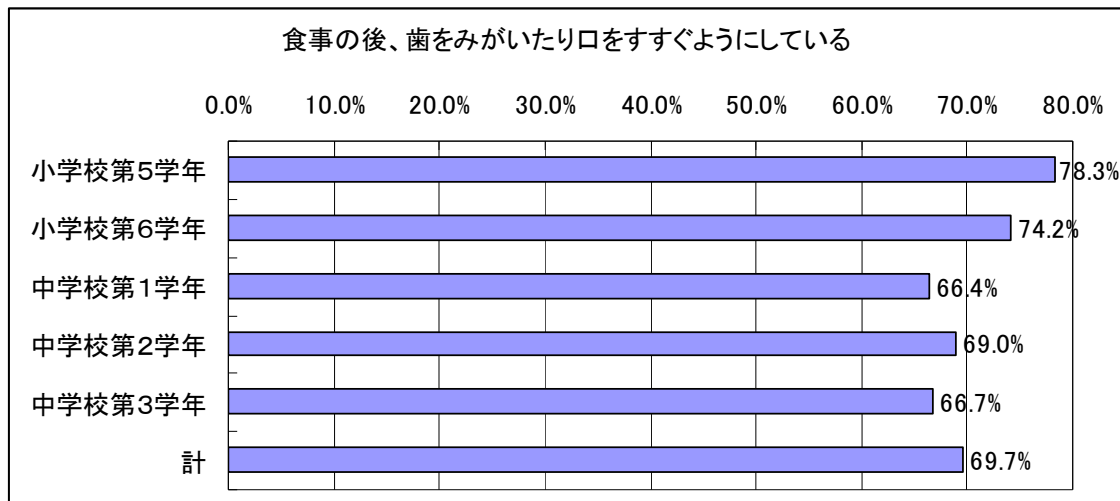


2 歯や歯ぐきの健康について注意していること

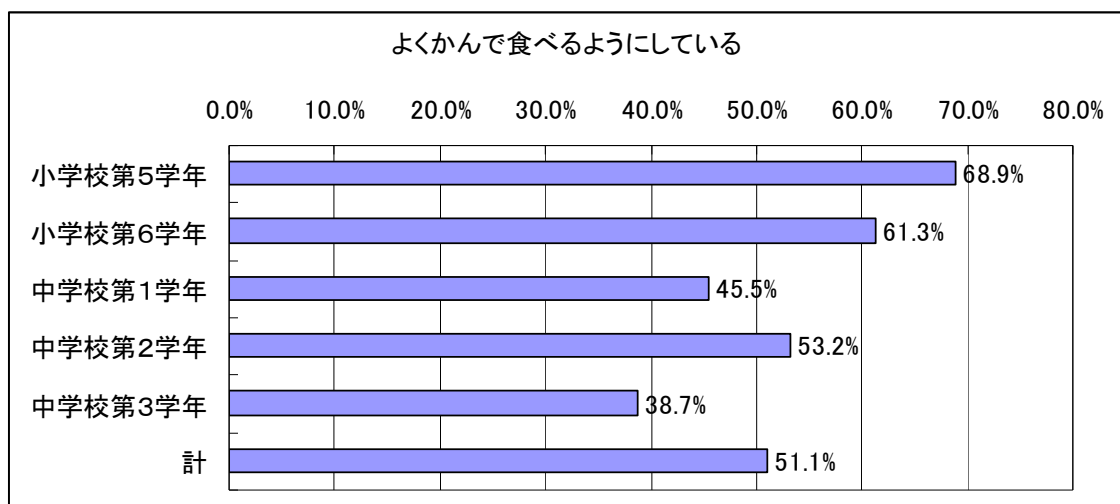
食事の後、歯をみがいたり口をすすぐようにしているが69.7%と最も多く、次いで、よくかんで食べるようにしている51.1%、バランスのとれた食事を心がけている43.4%だった。



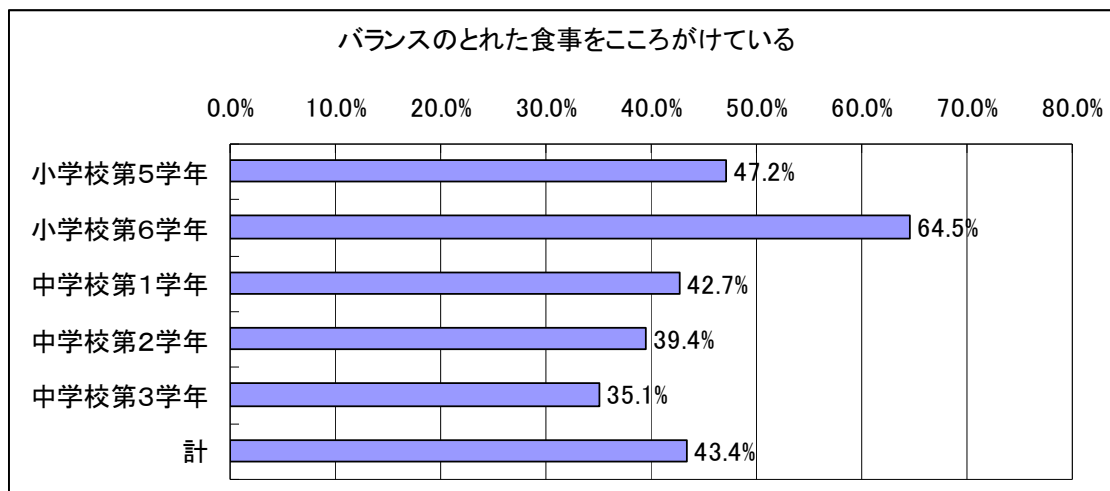
食事の後、歯をみがいたり口をすすぐようにしているは小学校第5学年が78.3%と最も多く、次いで小学校第6学年74.2%だった。



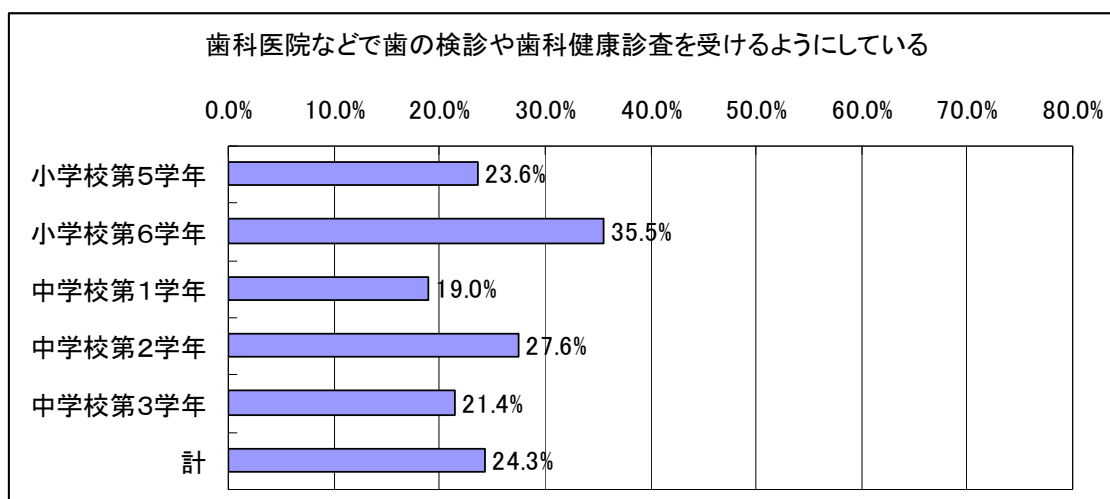
よくかんで食べるようにしているは、小学校第5学年が68.9%と最も多く、次いで小学校第6学年61.3%だった。



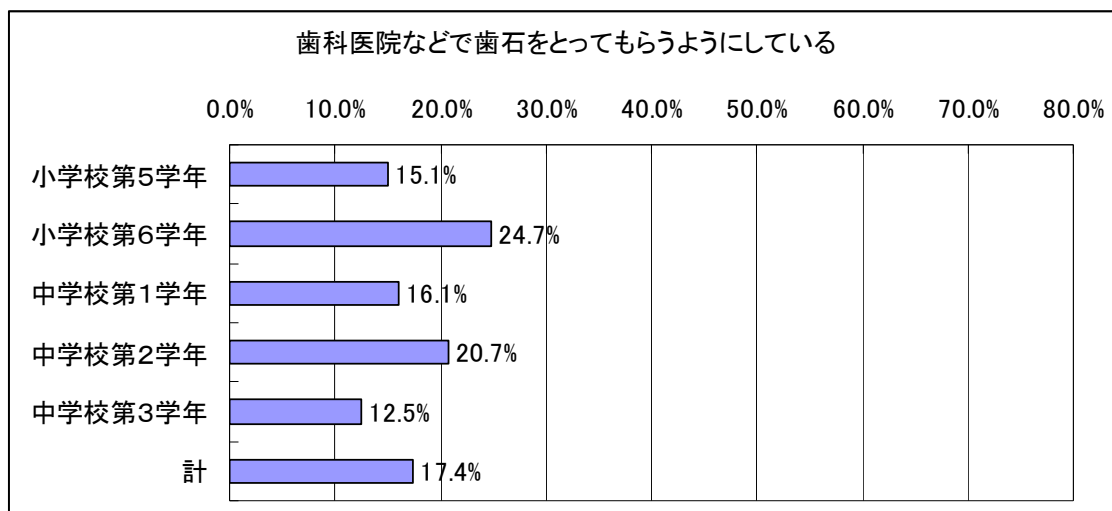
バランスのとれた食事をこころがけているは、小学校第6学年が64.5%、次いで小学校第5学年47.2%だった。



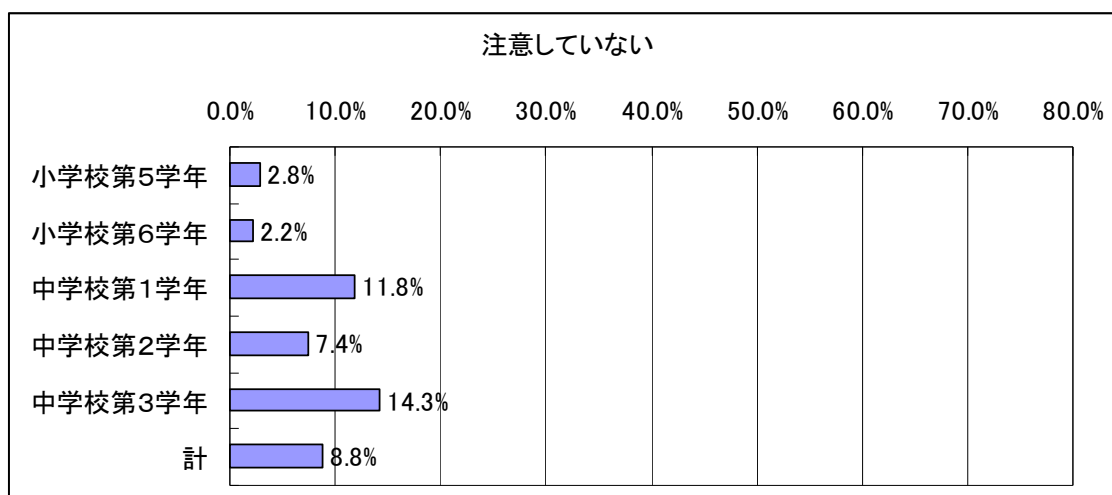
歯科医院などで歯の検診や歯科健康診査を受けるようにしているは、小学校第6学年が35.5%、次いで中学校第2学年27.6%だった。



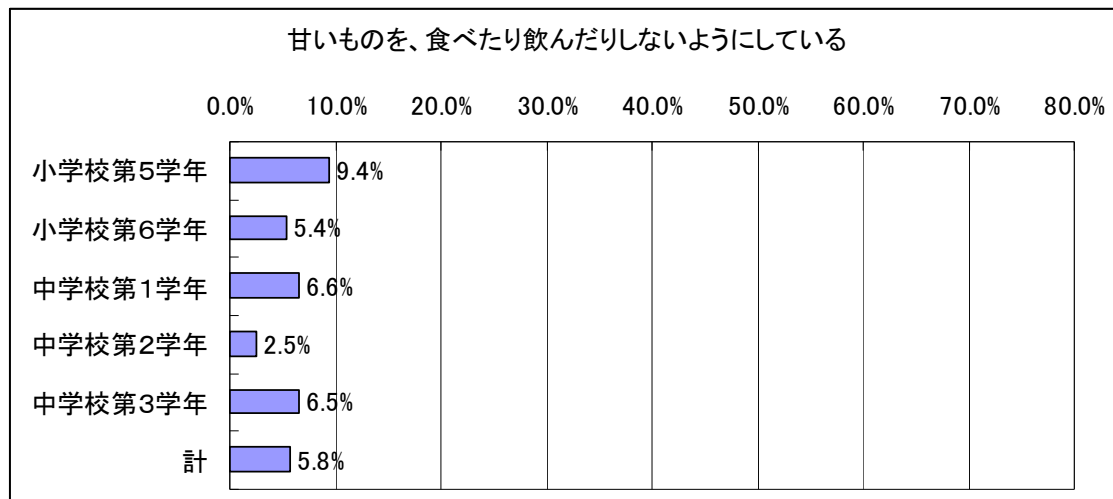
歯科医院など歯石をとってもらっているのは、小学校第6学年は24.7%、次いで中学校第2学年20.7%だった。



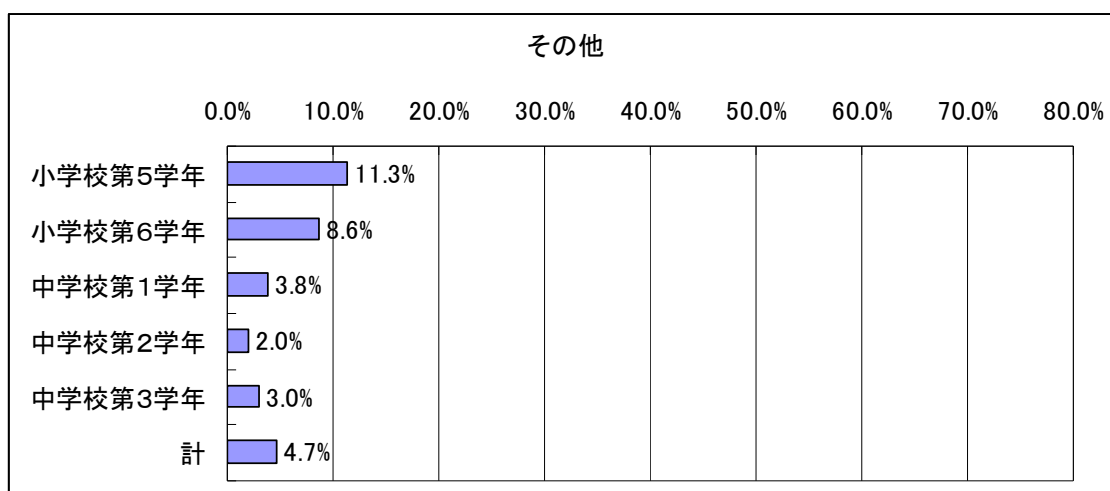
注意していないのは、中学校第3学年が14.3%と最も多く、次いで中学校第1学年11.8%だった。



甘いものを、食べたり飲んだりしないようにしているは、小学校第5学年9.4%、次いで中学校第1学年6.6%だった。

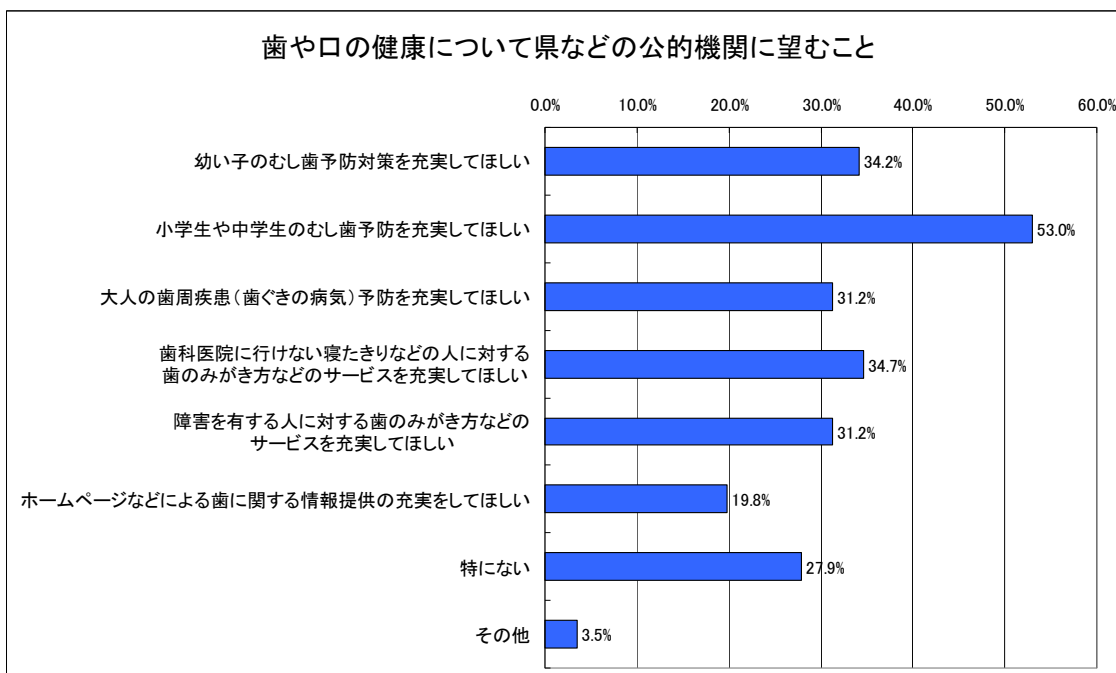


その他は、小学校第5学年が11.3%と最も多く、次いで小学校第6学年8.6%だった。

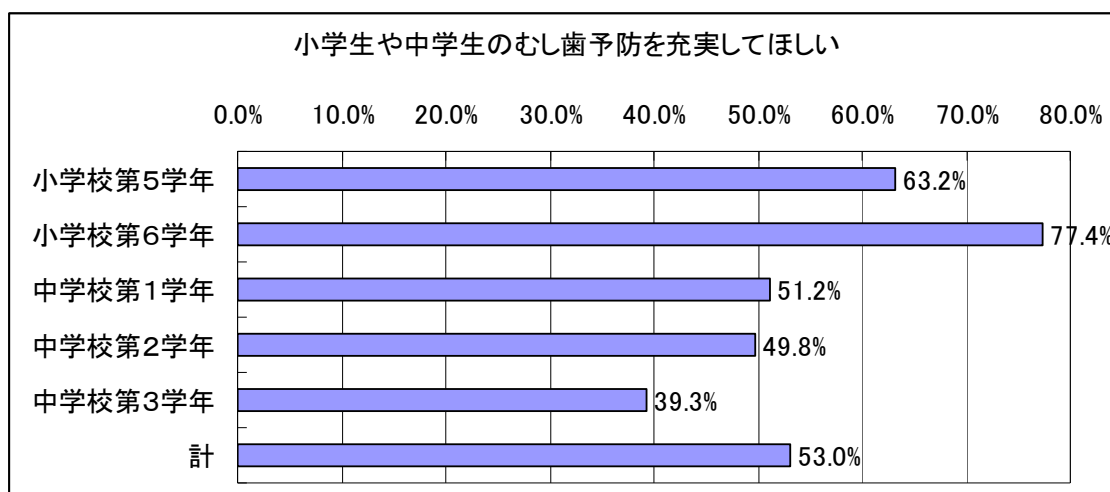


3 歯や口の健康について県などの公的機関に望むこと

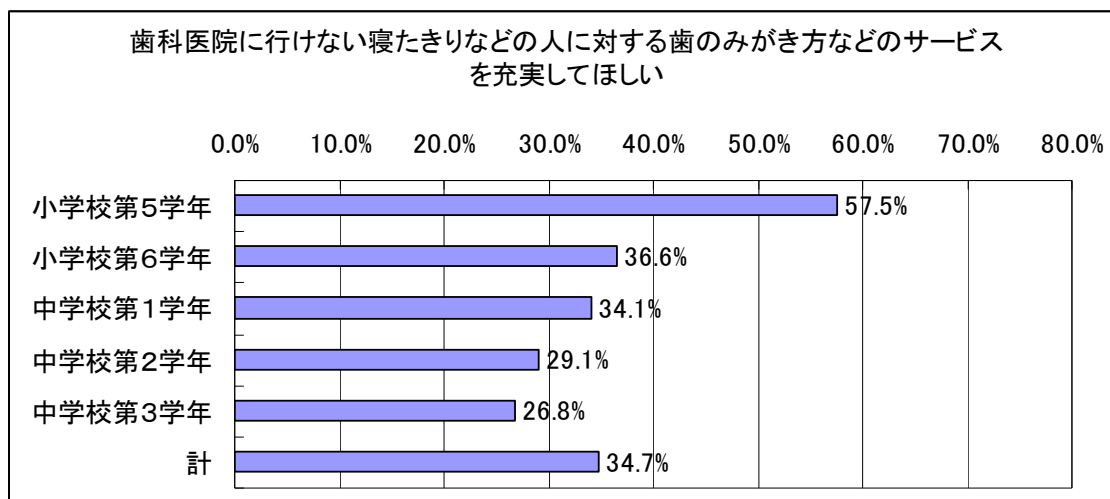
全体では、小学生や中学生のむし歯予防を充実してほしいが 53.0%と最も多く、次いで歯科医院に行けない寝たきりなどの人に対する歯のみがき方などのサービスを充実してほしいが 34.7%、幼い子のむし歯予防対策を充実してほしいが 34.2%だった。



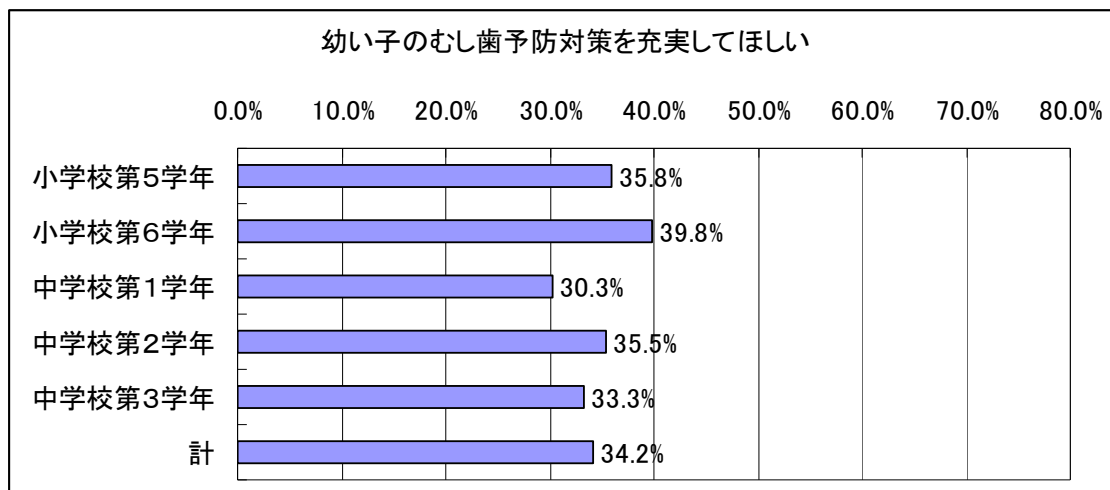
小学生や中学生のむし歯予防を充実してほしいは、小学校第 6 学年が 77.4%と最も多く、次いで小学校第 5 学年 63.2%だった。



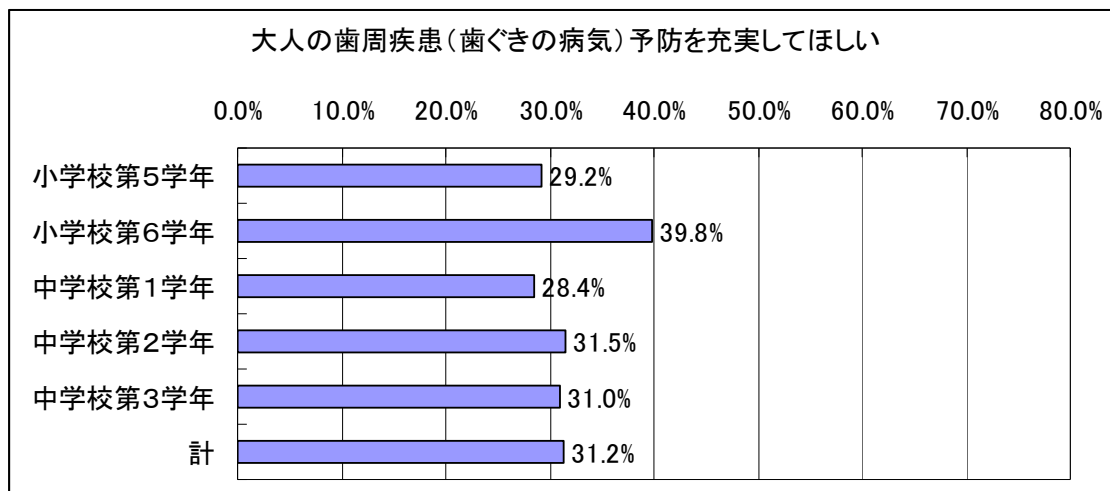
歯科医院に行けない寝たきりなどの人に対する歯のみがき方などのサービスを充実してほしいは、小学校第5学年が57.5%と最も多く、次いで小学校第6学年36.6%だった。



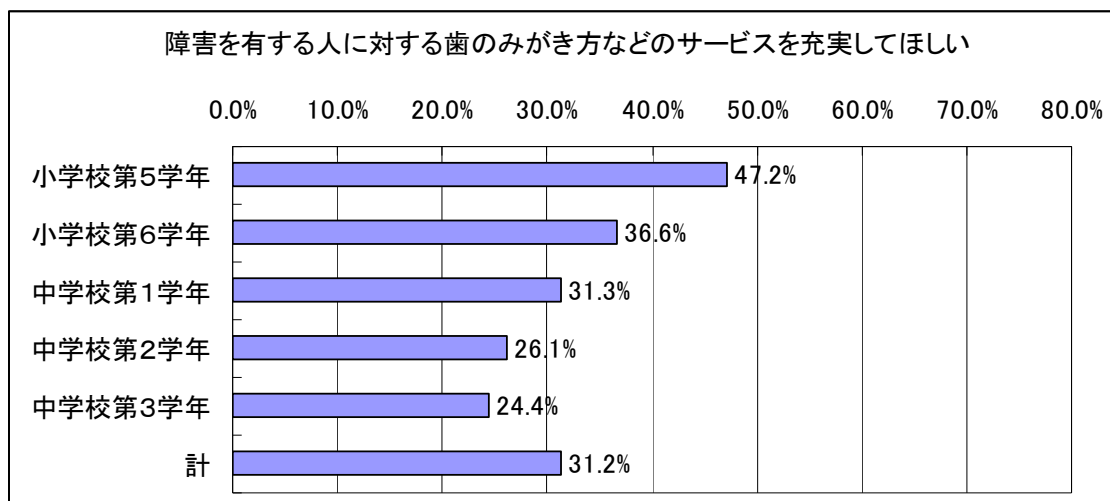
幼い子のむし歯予防対策を充実してほしいは、小学校第6学年が39.8%と最も多く、次いで次いで小学校第5学年35.8%だった。



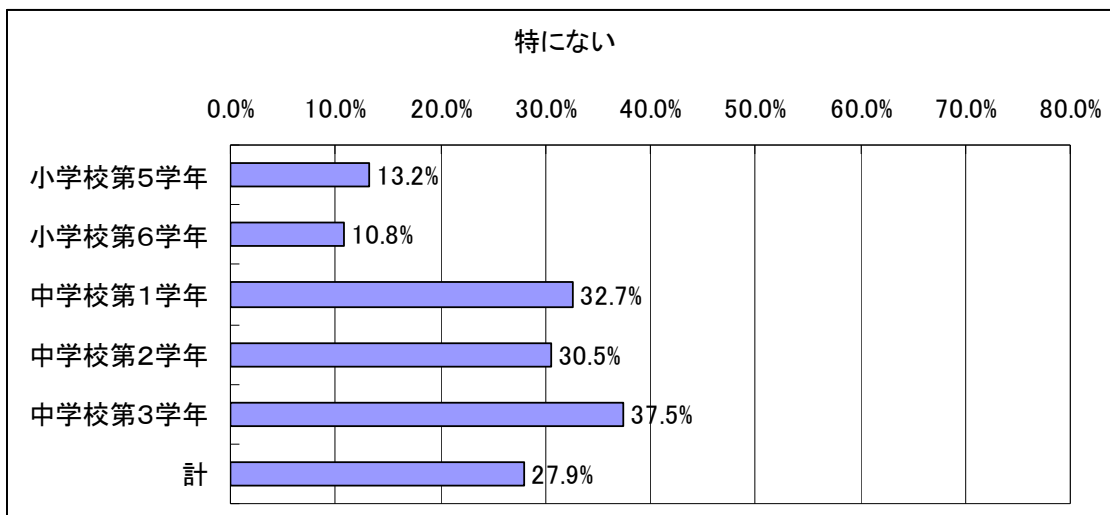
大人の歯周疾患（歯ぐきの病気）予防を充実してほしいは、小学校第 6 学年が 39.8%と最も多く、次いで中学校第 2 学年 31.5%だった。



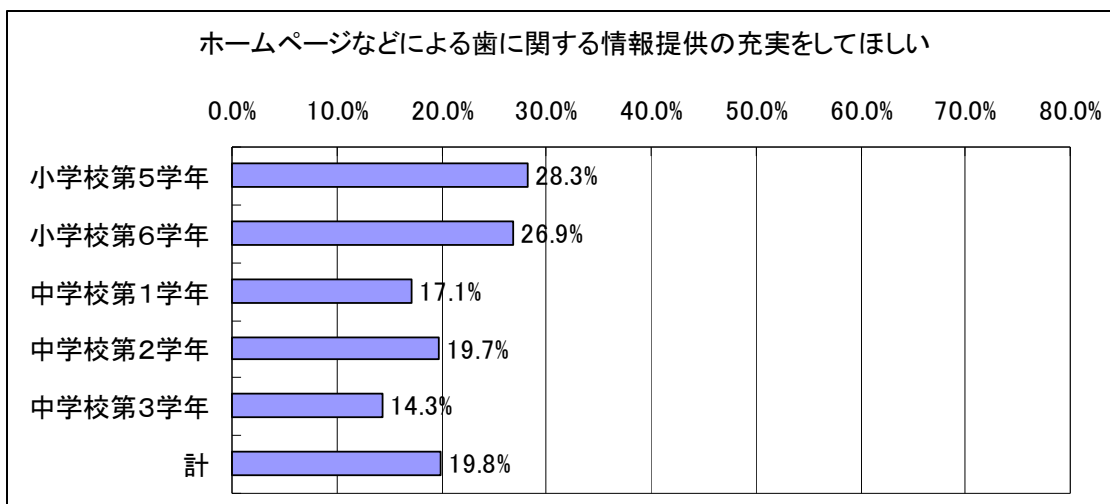
障害を有する人に対する歯のみがき方などのサービスを充実してほしいは、小学校第 5 学年は 47.2%と最も多く、次いで小学校第 6 学年が 36.6%だった。



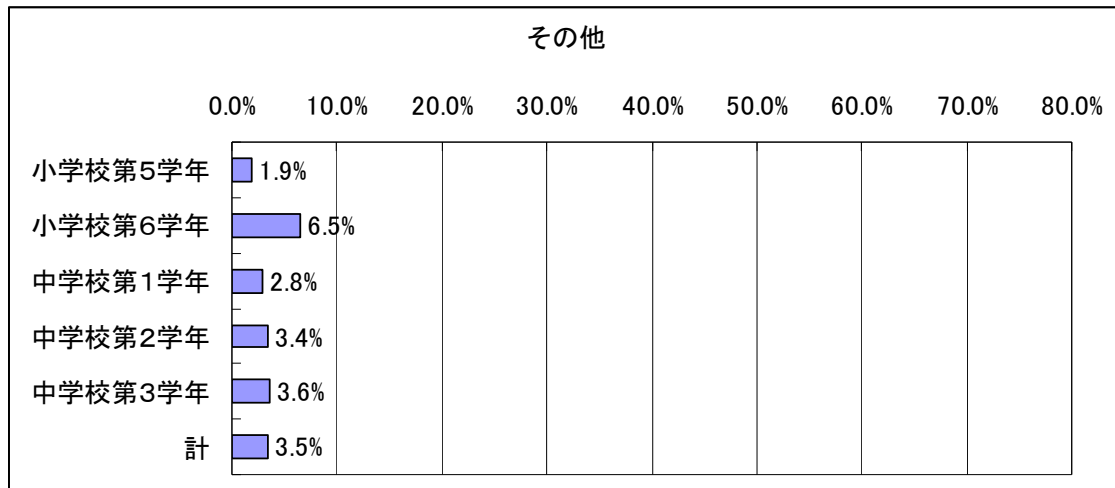
特にないは、中学校第3学年が37.5%と最も多く、次いで中学校第1学年が32.7%だった。



ホームページなどによる歯に関する情報提供の充実をしてほしいは、小学校第5学年が28.3%と最も多く、次いで小学校第6学年が26.9%だった、



その他は、小学校第6学年が6.5%と最も多く、次いで中学校第3学年が3.6%だった。



「千葉県歯・^{こうくう}口腔保健計画」に関する御意見等

千葉県健康福祉部

千葉県では、「千葉県歯・口腔の健康づくり推進条例」が平成22年4月1日から施行しました。

この条例に基づき、県では生涯にわたる県民の歯・口腔の健康づくりの着実な実現に向けて、長期的展望に立ち総合的かつ計画的に取り組む「歯・口腔保健計画」を策定しているところです。

そこで、県民の皆様から歯・口腔の健康づくりに関する御意見や御要望をお伺いし、計画に反映させてまいりたいと考えておりますので、下記アンケートに御協力をお願いいたします。

質問1 あなたの性別は。(○は一つだけ)

- 1 男 2 女

質問2 あなたの年齢は。(○は一つだけ)

- 1 9歳以下 2 10～19歳 3 20～29歳 4 30～39歳
5 40～49歳 6 50～59歳 7 60～69歳 8 70～79歳
9 80歳以上

質問3 あなたは、ふだん歯や歯ぐきの健康についてどのようなことに注意していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 歯の検診や歯科健康診査を受けるようにしている
2 歯石をとってもらおうようにしている
3 食事の後、歯をみがいたり口をすすぐようにしている
4 歯周病にならないように、根もとまでみがくようにしている
5 甘いものを、食べたり飲んだりしないようにしている
6 バランスのとれた食事をこころがけている
7 よくかんで食べるようにしている
8 歯や歯ぐきの健康を特に意識して喫煙をしないようにしている
9 その他 ()
10 注意していない

質問4 あなたは、歯や口の保健についてどのようなことを望みますか。あてはまるものすべてに○をつけてください

- 1 乳幼児のむし歯予防対策を充実してほしい
2 児童生徒のむし歯予防対策を充実してほしい
3 成人の歯周疾患対策を充実してほしい
4 寝たきりの高齢者など通院できない人の歯科保健体制を整備してほしい
5 身体障害者など体の不自由な人に対する歯科保健体制を整備してほしい
6 知的障害や発達障害のある人に対する歯科保健体制を整備してほしい
7 市町村などの公的機関で、歯の保健指導などのサービスを充実してほしい
8 歯科保健医療に関する情報提供の充実をしてほしい
9 特にない
10 その他 ()

質問5 計画の策定に関する御意見・御要望をお聞かせください。

一般県民対象アンケート調査集計表

表 年齢階級・性別回答者数(人)

	男	女	計
10～19歳	0	2	2
20～29歳	19	263	282
30～39歳	48	789	837
40～49歳	9	128	137
50～59歳	7	87	94
60～69歳	31	109	140
70～79歳	58	156	214
80歳以上	42	135	177
計	214	1669	1883

表 年齢階級・性別回答者数(%)

	男	女
10～19歳	0.0%	100.0%
20～29歳	6.7%	93.3%
30～39歳	5.7%	94.3%
40～49歳	6.6%	93.4%
50～59歳	7.4%	92.6%
60～69歳	22.1%	77.9%
70～79歳	27.1%	72.9%
80歳以上	23.7%	76.3%
計	11.4%	88.6%

表 年齢階級別回答者数(%)

	男	女	計
10～19歳	0.0%	0.1%	0.1%
20～29歳	8.9%	15.8%	15.0%
30～39歳	22.4%	47.3%	44.5%
40～49歳	4.2%	7.7%	7.3%
50～59歳	3.3%	5.2%	5.0%
60～69歳	14.5%	6.5%	7.4%
70～79歳	27.1%	9.3%	11.4%
80歳以上	19.6%	8.1%	9.4%
計	100.0%	100.0%	100.0%

表 年齢階級別歯や歯ぐきの健康について注意していること(人)

	歯の検診 や歯科健 康診査を受 けるように している	歯石をとつ てもらおうよ うにしてい る	食事の後、 歯をみが いたり口を すすぐよう にしてい る	歯周病にな らないよう に、根もと までみがく ようにし ている	甘いもの を、食べた り飲んだり しないよう にしてい る	バランスの とれた食事 をこころが けている	よくかんで 食べるよう にしてい る	歯や歯ぐき の健康を特 に意識して 喫煙をしな いようにし ている	その他	注意してい ない
10～19歳	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
20～29歳	59	66	202	118	11	73	89	55	5	18
30～39歳	265	255	602	347	31	250	174	156	15	41
40～49歳	53	56	93	61	10	54	40	23	4	3
50～59歳	41	40	66	62	5	46	43	27	3	2
60～69歳	66	76	111	94	11	80	62	54	3	4
70～79歳	87	67	173	120	47	138	151	79	9	7
80歳以上	44	23	138	77	34	119	128	66	8	6
計	615	583	1385	878	149	760	687	460	47	81

表 年齢階級別歯や歯ぐきの健康について注意していること(%)

	歯の検診 や歯科健 康診査を受 けるように している	歯石をとつ てもらおうよ うにしてい る	食事の後、 歯をみが いたり口を すすぐよう にしてい る	歯周病にな らないよう に、根もと までみがく ようにし ている	甘いもの を、食べた り飲んだり しないよう にしてい る	バランスの とれた食事 をこころが けている	よくかんで 食べるよう にしてい る	歯や歯ぐき の健康を特 に意識して 喫煙をしな いようにし ている	その他	注意してい ない
10～19歳	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	20.9%	23.4%	71.6%	41.8%	3.9%	25.9%	31.6%	19.5%	1.8%	6.4%
30～39歳	31.7%	30.5%	71.9%	41.5%	3.7%	29.9%	20.8%	18.6%	1.8%	4.9%
40～49歳	38.7%	40.9%	67.9%	44.5%	7.3%	39.4%	29.2%	16.8%	2.9%	2.2%
50～59歳	43.6%	42.6%	70.2%	66.0%	5.3%	48.9%	45.7%	28.7%	3.2%	2.1%
60～69歳	47.1%	54.3%	79.3%	67.1%	7.9%	57.1%	44.3%	38.6%	2.1%	2.9%
70～79歳	40.7%	31.3%	80.8%	56.1%	22.0%	64.5%	70.6%	36.9%	4.2%	3.3%
80歳以上	24.9%	13.0%	78.0%	43.5%	19.2%	67.2%	72.3%	37.3%	4.5%	3.4%
計	32.7%	31.0%	73.6%	46.6%	7.9%	40.4%	36.5%	24.4%	2.5%	4.3%

質問3 9 その他 ()

- ・ 歯間ブラシを使用 (6 件)
- ・ 歯科医院の定期点検を受けている。 (4 件)
- ・ 入れ歯の清潔を心がけている。 (4 件)
- ・ デンタルフロスを使用している。 (3 件)
- ・ 歯ぐきのマッサージをしている。 (2 件)
- ・ 夜寝る前は必ずみがいている。 (2 件)
- ・ キシリトール入りのガムをかんでいる。 (2 件)
- ・ 歯みがきの時に舌もブラッシング (2 件)
- ・ すでに歯周病になっているが、根元までみがくようにしている。 (2 件)
- ・ フッ素入りの歯みがき粉を使う。 (2 件)
- ・ 水だけで歯みがき
- ・ 15 分程度みがいている。
- ・ 間食はなるべくしないように心がけている。
- ・ マウスピースを使っている
- ・ 電動歯ブラシを使っている。
- ・ 仕上げ磨きをしている。
- ・ 気になる事があれば受診するつもりでいる。
- ・ クリーニングを定期的に受けている。
- ・ 義歯が多いので、かみ合わせに注意して食事が楽しくできるようにしている。
- ・ 歯周病にいいという歯みがきを使用している。
- ・ 歯みがきは3～5分くらいする。
- ・ 朝と夜2回歯みがき
- ・ 食後、お茶を飲んだりうがいをしたりする。
- ・ 毎日の食生活に注意する。(カルシウムを多く摂る。)

表 年齢階級別歯や口の健康について県などの公的機関に望むこと(人)

	乳幼児のむし歯予防対策を充実してほしい	児童生徒のむし歯予防対策を充実してほしい	成人の歯周疾患対策を充実してほしい	寝たきりの高齢者など通院できない人の歯科保健体制を整備してほしい	身体障害者など体の不自由な人に対する歯科保健体制を整備してほしい	知的障害や発達障害のある人に対する歯科保健体制を整備してほしい	市町村などの公的機関で、歯の保健指導などのサービスを充実してほしい	歯科保健に関する情報提供の充実をしてほしい	特になし	その他
10～19歳	2	1					1	1		
20～29歳	210	151	71	57	38	34	97	74	25	2
30～39歳	643	547	298	216	155	139	267	217	46	6
40～49歳	90	79	53	48	34	31	48	26	9	4
50～59歳	38	36	55	50	31	27	35	28	8	2
60～69歳	58	68	79	74	40	32	72	41	11	1
70～79歳	83	102	100	115	88	74	126	104	33	
80歳以上	54	64	60	98	80	64	82	62	41	2
計	1178	1047	716	657	466	401	728	552	173	17

表 年齢階級別歯や口の健康について県などの公的機関に望むこと(%)

	乳幼児のむし歯予防対策を充実してほしい	児童生徒のむし歯予防対策を充実してほしい	成人の歯周疾患対策を充実してほしい	寝たきりの高齢者など通院できない人の歯科保健体制を整備してほしい	身体障害者など体の不自由な人に対する歯科保健体制を整備してほしい	知的障害や発達障害のある人に対する歯科保健体制を整備してほしい	市町村などの公的機関で、歯の保健指導などのサービスを充実してほしい	歯科保健に関する情報提供の充実をほしい	特になし	その他
10～19歳	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	74.5%	53.5%	25.2%	20.2%	13.5%	12.1%	34.4%	26.2%	8.9%	0.7%
30～39歳	76.8%	65.4%	35.6%	25.8%	18.5%	16.6%	31.9%	25.9%	5.5%	0.7%
40～49歳	65.7%	57.7%	38.7%	35.0%	24.8%	22.6%	35.0%	19.0%	6.6%	2.9%
50～59歳	40.4%	38.3%	58.5%	53.2%	33.0%	28.7%	37.2%	29.8%	8.5%	2.1%
60～69歳	41.4%	48.6%	56.4%	52.9%	28.6%	22.9%	51.4%	29.3%	7.9%	0.7%
70～79歳	38.8%	47.7%	46.7%	53.7%	41.1%	34.6%	58.9%	48.6%	15.4%	0.0%
80歳以上	30.5%	36.2%	33.9%	55.4%	45.2%	36.2%	46.3%	35.0%	23.2%	1.1%
計	62.6%	55.6%	38.0%	34.9%	24.7%	21.3%	38.7%	29.3%	9.2%	0.9%

質問4 10 その他 ()

- ・ 歯科矯正の保険適応(3件)
- ・ 検診費の補助があるとうれしい。(2件)
- ・ フッ素を市で無料で塗ってもらえるといい。(2件)
- ・ 小さな子どもを見てくれる病院を増やしてほしい。
- ・ 口腔がん検診を充実してほしい。
- ・ 水道水にフッ素をまぜて欲しい。
- ・ 大人の定期検診など市で無料でやってほしい。情報があればもっとわかりやすくしてほしい。
- ・ フッ素塗布は本当に安全か？
- ・ かみ合わせが体全体におよぼす点についての広報
- ・ 一人ぐらしの大学生等がむし歯を悪化させやすいのでは？と思うのですが。

質問 5 計画の策定に関する御意見・御要望

- ・ 歯科医師の質のチェックもしてほしい。
- ・ むし歯になった、歯周病になった場合の害を具体的に知りたい。いろいろな人に対応した歯科医が欲しい（乳幼児、成人、障害者、高齢者）
- ・ 治療する時、つい近くの歯医者さんに行ってしまうがちですが、高度の入れ歯やインプラントの技術がないのでどこがよいか知りたい。
- ・ 「歯をとってください。」と歯科医をたずねるのはなかなかできない。歯科医の方で「歯石の除去」を啓もうしてもらいたい。
- ・ 最新（？）の治療、顕微鏡を使って治療している医院はどこか調べてもわからなくて困っています。
- ・ 乳幼児のフッ素を塗布するのを近くの歯科医院で定期的に無料でできるようにしてほしい。（どのくらいの期間で次のフッ素を塗っていいかわからない。）
- ・ 私たちは8020活動をしているので最近虫歯が少なくなったそうで良かったと思います。
- ・ 子供の頃から硬い物をよくかんで食べる様親やまわりで気をつける。子供の頃から親と一緒に歯みがきは楽しいと思える様接すると良い。
- ・ 子供の歯の健康は親が見守っていかないといけないが、大人の場合、自分自身で守っていかなければいけない。
- ・ 歯科医院でのフッ素塗布を保険対象にしてほしい。（2件）
- ・ 計画に賛成です。
- ・ 歯科衛生士さんがいない市町村もあると聞いて驚いた。乳児検診の時から見たことのある歯科衛生士さんがいて安心です。全ての市町村に配置されるといいと思います。
- ・ むし歯の多い子に虐待されている子が多いとききました。歯科検診でむし歯の多い子を児童相談所や学校などで生活調査できるような連携があればいいと思います。
- ・ 歯医者さんに行きだすと1～2回では終わらないので行き始めるに勇気がいる。
- ・ 学校、保育所でのフッ素洗口をぜひ広げてほしいと思います。（3件）
- ・ 成人の虫歯相談をもって広げてほしい。
- ・ 長く付き合える歯医者さんがすくない。
- ・ 歯医者さんの医療費を安くしてほしい。
- ・ こんなことのために税金を使わないでください。
- ・ 計画書の字を大きくしてほしいです。（2件）

- ・ 要介護高齢者の摂食嚥下に対して、歯科医師、歯科衛生士が実際行う機会が少ないと思うので充実させてほしいです。
- ・ 1年に1度、歯科指導などがあると良い。
- ・ 学校へも定期的に歯科衛生士さんに来校していただき、指導や口の中の点検などもしていただけるとうれしいです。
- ・ 成人の歯周病対策を特に望みます。
- ・ 診療の料金を統一してほしい。
- ・ フッ素塗布など助成して行ってほしい。(2件)
- ・ 口腔保健の重要性について公的機関としてのキャンペーン等が重要。子供の時の不用心による歯の喪失は後の人生に影響を与える。
- ・ 近年、乳幼児のむし歯予防対策の支援や指導は進んできていますが、孫を持つ50~60代の人々の知識が乏しいので、生活習慣にもギャップが生じている。その辺のことに対しての手立てや指導等をしてほしいです。
- ・ 検診でフッ素を塗ってほしいです。(4件)。
- ・ 乳幼児の歯をたまに見る機会を作ってほしいです。
- ・ フッ素を塗ると良いと話を聞くが、むし歯にならないようにするには、歯みがき以外どうしたらいいものか。
- ・ 年齢に応じてアンケート内容を分かりやすく作成してください。
- ・ 健康の根幹問題故に計画は貴重であります。
- ・ 心身障害児者への歯科指導はとても重要だと思いますので、診療車巡回は多くの施設をまわられるようにしていただきたいと思います。
- ・ 市町村で口腔健診をぜひやってほしい。(がん等の発見のためにも)
- ・ パブリックコメントの内容を反映させてもらいたいです。
- ・ 歯に関してむし歯に対する予防など知らない人が多いと思うので、年齢に関係なく講習会など機会がもっとあると良いと思います。
- ・ フッ素が実費なので200円でできればうれしいと思います。
- ・ 乳幼児を診てもらえる歯科医院があれば紹介してほしい。なければ、近所に整備してほしい。
- ・ 外国語の表記など外国人でも安心して治療や保健指導を受けられるようにしてほしい。
- ・ 健康な人は個人個人がむし歯にならないよう気をつけていけば良いと思います。気をつけよう、呼びかける程度で十分と思います。
- ・ 健康診査は午後からにしてほしい。
- ・ 歯・口腔に関して幼いころからのケアの重要性やブラッシングの効果的な方法などすべての世代の人に充実して知れ渡るようになってほしいです。また、歯科治療や矯正がしやすい体制(金額的なものなど)にな

ってくれるといいなと思います。（自分自身、幼いころ歯については嫌な思いや後悔などをしてきたので、ぜひ充実させてほしいです。）

- ・ 小さい子供がいる母親でも歯医者に行ける設備がほしい。
- ・ 仕事をしている人も参加しやすい様に土日や夜間の検診なども考えてほしい。
- ・ 子供を連れていける歯医者さん等を紹介してほしい。
- ・ 上の子は小学3年生でむし歯を作ってしまいました。つい気をぬいてしまう頃に対策をしていただけたらうれしいです。
- ・ この計画は歯の大切さを非常にわかりやすくしています。自分自身はより歯を大切にしたいと思いました。大変良い計画だと思います。
- ・ 医師である歯科医師のいる医院の一覧がほしい。ジキタリスや抗血小板剤を服用していると抜歯等の治療をしてくれない。
- ・ 若い人に学童に歯の大切さを十分教育してほしい。
- ・ 学校に校医がいるように職場にも歯科の専属の顧問の医師を決め、定期的にケアもできたらいいと思います。
- ・ 年齢による定期健診で通年使用できる記録手帳を広域で作ってください。施設入所時の資料となるように。
- ・ 口は健康にとって大切なので、県でどんだん力をいれて口の健康を進めていってほしい。
- ・ 歯・口腔の健康を考えていますが、なかなか土日しか仕事を休めず、歯科は土日休みが多いので行くことができません。歯科を増やして土日も見てくれれば良いと思います。
- ・ 定期的にすべての人が歯科医院などで健診できる制度にしてほしい。
(10件)
- ・ 計画案のとおり実行してください。(4件)
- ・ 寝たきり老人だけでなく、一般高齢者も車にのれないので、歯科保健体制を整備してほしい。口腔ケア、口腔ケアについてもっとアピールしてほしい。
- ・ 歯医者さんが多いので良いか？
- ・ 歯科医院によって料金が違うようですが。一定にしてもらいたい。
- ・ 歯の健康は大切なことです。
- ・ 自分のことは自分でやるのが良いと思います。あまり、市に頼りすぎることはよくないと思います。
- ・ 成人や学生も健康診断が市の歯科医院で受診できるようにしてほしい。
- ・ 歯科医がいつも混んでいるので歯の健康検査はなかなか受けられません。

- ・ 歯は乳幼児の時から食事に気をつける。
- ・ 幼児からしっかり歯をみがく指導をお願いします。
- ・ シーラントの穴から虫歯になることもあると周知してほしい。
- ・ 歯並びの重要性を小さい頃から指導し、必要であれば矯正を勧めてほしい。日本は歯並びの意識が低すぎる。むし歯の原因にもなり、国際人としての身だしなみでもある。
- ・ 歯の検診はなかなか機会がなく、痛くなったり、異常がなければ行かないケースが多いので、働く世代や成人にも補助金などで検診の機会があるとよい。
- ・ 歯科の検診医が都内のため、どの医療機関でも助成してほしいです。
- ・ 歯は痛くならないと病院に行かないです。「検診だけ」、「歯石をとるだけ」など歯科にも行きやすさを促進してほしいなと思います。
- ・ 歯科は医師の腕の違いが大きい。良い病院をどう探したらよいものか。目安になるものがあると助かります。
- ・ インプラント、入れ歯など情報がほしいです。
- ・ 節目検診で歯科無料がありますが、例えば50歳以上は毎年無料で1回検査を受けられると習慣化意識が付くと思います。
- ・ 地域と学校とともに健康増進とともに80歳までの8020を、また進めてみてはどうでしょうか。
- ・ 歯医者さんは歯に異常が出てからしか行かないので予防のために、通院する習慣ができるように指導してほしい。
- ・ 噛むことの大切さを児童生徒に十分理解させてほしい。
- ・ 60歳以上になったら歯が少しずつ悪くなってきた。60歳以上の方の検診を全員対象、無料で行う。具合が悪くなってからでは遅いような感じがする。
- ・ インプラントも保険がきくようにしてほしい。
- ・ とても良い計画だと思います。早く実施してほしいです。(2件)
- ・ 何歳になっても正しい歯のみがき方を教えてもらいたい。大人の歯みがきが正しく出来ていないから、子供もむし歯になる。フッ素は体に害はないのか。
- ・ 幼稚園、小学校、中学校での口腔衛生の充実
- ・ 新しく歯を入れたりする場合(さし歯など)保険適用外になると負担額が大きくなるので軽減してほしい。
- ・ 乳幼児の定期検診を歯がはえる頃から実施してほしい。
- ・ 歯周病予防に関する取組みが増えるとありがたいです。

- 保健センターではなく、近所の歯科医院で指導を受けられるようにしてほしいです。
- 乳幼児の歯科健診を年齢ごとにやってもらえるとうれしい。一部負担でもあるといいなと思う。
- 歯並びについても話をきいてみたいです。
- 子供を預かってくれる歯医者を増やしてほしい。
- 妊娠中にずいぶん歯や歯ぐきが弱ったり、虫歯になったと感じます。同じように困る女性は多いように思います。妊娠中や授乳中はむし歯の治療もできず困りました。その時になってみて大変さを感じました。周知などあるといいです。
- 口腔一般の情報などもほしいです。
- 学校の健康診断、歯科検診のように大人でも一斉に診てもらえる体制があるとよいと思う。自分で歯科医院を予約していくのはおっくう。日時などいくつか設けて、選んでもらうといいと思う。
- フッ素などをやってほしい。
- 小学生までは校内で歯みがきをしたり、指導をしていると思いますが、中高校生になると昼食後も歯みがきがなくなり、学校でも歯みがきや歯についての指導が全くなくなるので、子供たちの歯に対する意識が薄れているように思います。虫歯になりやすい10代（中高校生）にもむし歯予防対策をしてほしい。
- 保育所など集団で子供たちにも理解できる歯科指導をしてほしいです。
- むし歯の予防は各家庭で対策や治療や予防をやっていると思うので、体制の整備とかをするなら、体の構造変化による顎の骨の縮小等やそれに伴う歯並びやかみ合わせの方がより大きな問題である。ほとんどの子供たちが矯正を必要とし、多額な費用を負担している。行政施策はいつもズレている。
- 歯医者さんは1回の金額がとても高い。だから途中で行かなくなってしまう人も多いと思います。

児童生徒対象アンケート調査集計表

表 学年別男女数(人)

	男	女	計
小学校第5学年	48	58	106
小学校第6学年	52	41	93
中学校第1学年	107	104	211
中学校第2学年	103	100	203
中学校第3学年	70	98	168
計	380	401	781

表 学年別男女数(%)

	男	女
小学校第5学年	45.3%	54.7%
小学校第6学年	55.9%	44.1%
中学校第1学年	50.7%	49.3%
中学校第2学年	50.7%	49.3%
中学校第3学年	41.7%	58.3%
計	48.7%	51.3%

表 学年別歯や歯ぐきの健康について注意していること(人)

	歯科医院などで歯の 検診や歯科健康診査 を受けるようにしてい る	歯科医院などで歯石 をとってもらおうようにし ている	食事の後、歯をみがい たり口をすすぐようにし ている	甘いものを、食べたり 飲んだりしないように している	バランスのとれた食事 をこころがけている	よくかんで食べるよ うにしている	その他	注意してい ない
小学校第5学年	25	16	83	10	50	73	12	3
小学校第6学年	33	23	69	5	60	57	8	2
中学校第1学年	40	34	140	14	90	96	8	25
中学校第2学年	56	42	140	5	80	108	4	15
中学校第3学年	36	21	112	11	59	65	5	24
計	190	136	544	45	339	399	37	69

表 学年別歯や歯ぐきの健康について注意していること(%)

	歯科医院などで歯の 検診や歯科健康診査 を受けるようにしてい る	歯科医院などで歯石 をとってもらおうようにし ている	食事の後、歯をみがい たり口をすすぐようにし ている	甘いものを、食べたり 飲んだりしないように している	バランスのとれた食事 をこころがけている	よくかんで食べるよ うにしている	その他	注意してい ない
小学校第5学年	23.6%	15.1%	78.3%	9.4%	47.2%	68.9%	11.3%	2.8%
小学校第6学年	35.5%	24.7%	74.2%	5.4%	64.5%	61.3%	8.6%	2.2%
中学校第1学年	19.0%	16.1%	66.4%	6.6%	42.7%	45.5%	3.8%	11.8%
中学校第2学年	27.6%	20.7%	69.0%	2.5%	39.4%	53.2%	2.0%	7.4%
中学校第3学年	21.4%	12.5%	66.7%	6.5%	35.1%	38.7%	3.0%	14.3%
計	24.3%	17.4%	69.7%	5.8%	43.4%	51.1%	4.7%	8.8%

質問3 7 その他 ()

1 小学校第5学年

- ・ ていねいに歯をみがいている。(4件)
- ・ 歯科医院で治療などをしてもらっている。(2件)
- ・ キシリトールの入った歯みがき粉を使っている。
- ・ 甘い物を食べる時、水などを飲むようにしている。
- ・ はぐきをマッサージをしている。
- ・ 歯科医院で歯みがきの正しいやり方を教えてもらっている。
- ・ 両方にかむようにしている。

2 小学校第6学年

- ・ 歯科矯正をしている。
- ・ 歯並びが悪いのでていねいに歯をみがく様になっている。
- ・ 朝昼は忘れていますが、夜は絶対歯を磨く。
- ・ やわらかい歯ブラシを使うようにしている。
- ・ 朝、起きたら歯みがきをしている。
- ・ 夜は甘い物を食べないようにしている。
- ・ 歯ブラシの向きを変えてていねいにみがいている。
- ・ 夜寝ている時に歯に菌がたまると言われていたので、朝起きたらすぐに歯をゆすぐようにしている。

3 中学校第1学年

- ・ しっかり歯をみがくようにしている。(3件)
- ・ 甘い物を食べてから寝ないようにする。
- ・ 夜、歯をみがくときに口をすすぐ薬品を使ってからみがいている。
- ・ 夜、歯をみがいている。
- ・ 毎日フッ素をつけて歯をみがいている。

4 中学校第2学年

- ・ 食事の後、少し時間をおいて歯みがき
- ・ 矯正をしていて4週間に1回病院に行く。

5 中学校第3学年

- ・ 朝と寝る前に歯をみがく。(2件)
- ・ はぐきまでみがく

表 学年別歯や口の健康について県などの公的機関に望むこと(人)

	幼い子のむし歯予防対策を充実してほしい	小学生や中学生のむし歯予防を充実してほしい	大人の歯周疾患(歯ぐきの病氣)予防を充実してほしい	歯科医院に行けない障たきりなどの人に対する歯のみがき方などのサービスを充実してほしい	障害を有する人に対する歯のみがき方などのサービスを充実してほしい	ホームページなどによる歯に関する情報提供の充実してほしい	特にない	その他
小学校第5学年	38	67	31	61	50	30	14	2
小学校第6学年	37	72	34	34	34	25	10	6
中学校第1学年	64	108	60	72	66	36	69	6
中学校第2学年	72	101	64	59	53	40	62	7
中学校第3学年	56	66	52	45	41	24	63	6
計	267	414	244	271	244	155	218	27

表 学年別歯や口の健康について県などの公的機関に望むこと(%)

	幼い子のむし歯予防対策を充実してほしい	小学生や中学生のむし歯予防を充実してほしい	大人の歯周疾患(歯ぐきの病氣)予防を充実してほしい	歯科医院に行けない障たきりなどの人に対する歯のみがき方などのサービスを充実してほしい	障害を有する人に対する歯のみがき方などのサービスを充実してほしい	ホームページなどによる歯に関する情報提供の充実してほしい	特にない	その他
小学校第5学年	35.8%	63.2%	29.2%	57.5%	47.2%	28.3%	13.2%	1.9%
小学校第6学年	39.8%	77.4%	39.8%	36.6%	36.6%	26.9%	10.8%	6.5%
中学校第1学年	30.3%	51.2%	28.4%	34.1%	31.3%	17.1%	32.7%	2.8%
中学校第2学年	35.5%	49.8%	31.5%	29.1%	26.1%	19.7%	30.5%	3.4%
中学校第3学年	33.3%	39.3%	31.0%	26.8%	24.4%	14.3%	37.5%	3.6%
計	34.2%	53.0%	31.2%	34.7%	31.2%	19.8%	27.9%	3.5%

質問4 8 その他 ()

1 小学校第5学年

- ・ 子供に聞かれましても
- ・ 歯医者に行く値段が高く、費用を少なくしてほしい。

2 小学校第6学年

- ・ 無料の矯正
- ・ うまく生活をしていない人たちにも診査を楽に受けられるようにしてほしい。
- ・ あまり知られていない歯の病気などについて、よく教えてほしい。
- ・ 幼い子だけではなく、全員の予防を充実してほしい。
- ・ 子供の歯を大切にしてほしい。
- ・ 8020 運動など将来に役立つ運動をしてほしい。

3 中学校第1学年

- ・ 小学校などで歯みがきの充実
- ・ 学校で歯みがきの習慣みたいなものを作ってほしい。
- ・ 治療の痛みをなくしてほしい。
- ・ 学校で歯みがきの時間をつくってほしい。
- ・ 学校で予防対策を教えてほしい。
- ・ 無料で受けられるようにしてほしい。

4 中学校第2学年

- ・ 無料で歯のホワイトニングをしてほしい。
- ・ 痛くない最先端の治療
- ・ 無料で治療をしてほしい。
- ・ 歯並びの矯正の保険を適用してほしい。(3件)

5 中学校第3学年

- ・ 治療が安くしてほしい。(2件)
- ・ 新型の歯ブラシを開発し、千葉を歯みがきの先進都市として世界にアピールしてほしい。
- ・ そのお金を県の借金返済にあててほしい。
- ・ そのお金を他に回してほしい。
- ・ もっと治療を痛くないようにしてほしい。